

PAT-NO: JP02002251448A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002251448 A
TITLE: JOB HUNTING SUPPORT SYSTEM

----- KWIC -----

Abstract Text - FPAR (1):

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a job hunting support system having a semantic factor which is essentially provided in a resume and coping with the distribution through a network.

Abstract Text - FPAR (2):

SOLUTION: The job hunting support system is provided with a user registration means which receives job applicant information to be used for registration of a user to identify a position of a job applicant from many and unspecified job applicant terminals and performs registration of a user, a user authentication means to authenticate a registrant at a request from the job applicant terminal, a resume receiving means to receive a resume in which a layout of career information is created from a job applicant terminal, a conversion means to convert the resume received by the resume receiving means into a plurality of file formats so as to communicate an individuality of the job applicant represented in the resume layout, a means to store a resume data file converted by the file conversion means in a database, and a resume retrieval and display means to retrieve a data file stored by the file storing means and display it.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-251448

(P2002-251448A)

(43) 公開日 平成14年9月6日 (2002.9.6)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 17/60	1 2 4	G 0 6 F 17/60	1 2 4 5 B 0 7 5
	3 1 4		3 1 4 5 B 0 8 2
	5 0 2		5 0 2
12/00	5 1 1	12/00	5 1 1 C
17/30	1 1 0	17/30	1 1 0 F

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全 30 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2001-48221(P2001-48221)

(22) 出願日 平成13年2月23日 (2001.2.23)

(71) 出願人 501076081

ジャパンジョブジョブ株式会社

東京都港区北青山2-7-24

(72) 発明者 植村 太郎

東京都港区北青山2-7-24 ジャパンジ

ョブジョブ株式会社内

(72) 発明者 小出 創

東京都港区北青山2-7-24 ジャパンジ

ョブジョブ株式会社内

(74) 代理人 100083806

弁理士 三好 秀和 (外8名)

Fターム(参考) 5B075 ND20 NR02 PP02 PP03 PQ02

UL24

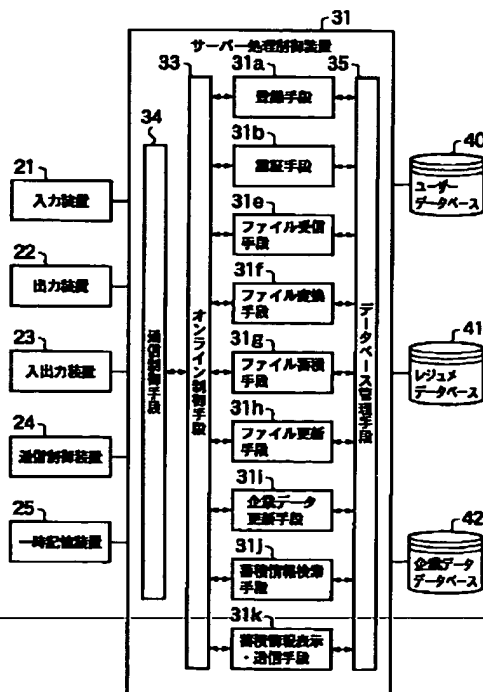
5B082 GA02 GC04

(54) 【発明の名称】 就職支援システム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 レジューメが本来持つ意味的要素を備え、且つ、ネットワークを介した流通にも対応することができる就職支援システムを提供することである。

【解決手段】 不特定多数の就職志願者端末からユーザー登録を行う際に就職志願者の身分を特定するための就職志願者情報を受信しユーザー登録を行うユーザー登録手段と、就職志願者端末からの要求に対して登録者の認証を行うユーザー認証手段と、就職志願者端末から履歴情報をレイアウトしたレジューメを受信するレジューメ受信手段と、レジューメのレイアウトで表される就職志願者の個性を伝達するためにレジューメ受信手段で受信したレジューメを複数のファイル形式に変換する手段と、ファイル変換手段で変換したレジューメのデータファイルをデータベースに蓄積する手段と、ファイル蓄積手段で蓄積したデータファイルを検索し表示するレジューメ検索・表示手段とを有する就職支援システムである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】就職志願者端末、企業端末、就職支援サーバー、及びこれらの間を接続するネットワークを有して構成され就職志願者が行う就職活動及び企業が行う採用活動をネットワーク上で支援する就職支援システムであって、不特定多数の就職志願者端末からユーザー登録を行う際に就職志願者の身分を特定するための就職志願者情報を受信しユーザー登録を行うユーザー登録手段と、前記就職志願者端末からの要求に対して登録者の認証を行うユーザー認証手段と、前記就職志願者端末から就職志願者が自己の履歴情報を自由にレイアウトしたレジュメを受信するレジュメ受信手段と、前記レジュメのレイアウトで表される就職志願者の個性を伝達するために前記レジュメ受信手段で受信した前記レジュメを複数のファイル形式に変換するファイル変換手段と、前記ファイル変換手段で変換した前記レジュメのデータファイルをデータベースに蓄積するファイル蓄積手段と、前記ファイル蓄積手段で蓄積したデータファイルを検索し表示するレジュメ検索・表示手段とを備えたことを特徴とする就職支援システム。

【請求項2】前記複数のファイル形式は、電子文書フォーマット及び画像ファイル形式であって、前記レジュメ検索・表示手段は、前記ファイル蓄積手段で蓄積したデータファイルの電子文書フォーマット・ファイルを検索し、画像ファイル形式のデータファイルを表示することを特徴とする請求項1記載の就職支援システム。

【請求項3】前記電子文書フォーマットは、テキストファイル及びポータブル・ドキュメント・フォーマット(PDF)であり、前記画像ファイル形式は、グラフィカル・インターチェンジ・フォーマット(GIF)及びポータブル・ドキュメント・フォーマット(PDF)であることを特徴とする請求項1記載の就職支援システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する分野】本発明は電子化した文書を蓄積し管理する文書管理システムに関し、特に、就職活動を支援するための就職支援システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】これまで、一般的に、就職活動を行う学生は、電話・ファックス・郵便物などを用いて、就職希望企業などに資料請求を行ったり、応募したりしていた。また、学生を採用する採用企業側では、それぞれの企業において名簿などを独自に入手し、不特定多数の学生などに対して資料を送付したり、人材斡旋会社などを利用して採用候補者を集めていた。

【0003】しかし、近年における情報技術の発展に伴い、これらの就職・採用活動はインターネットなどのネットワークを介して支援するシステムが運用されはじめた。これらの支援システムは、学生など学生側に対して

は就職支援システムを提供し、採用企業側に対しては採用活動支援システムを提供するものである。

【0004】学生など学生側に提供される上記就職支援システムでは、一般に、各々の学生にあらかじめ定められたフォーマットに個人情報を入力してもらい、その情報を蓄積する。情報の内容は、学生の名前、連絡先、出身地、学歴、職歴、サークル活動情報、志望職種などの情報であり、学生によって入力された情報は、デジタル情報としてサーバに蓄積される。そして、蓄積された情報は、資料請求などのプロセスの一環として学生が選択した企業などに送られる。

【0005】一方、採用企業側に対して提供される採用支援システムでは、採用企業側から求人情報を収集する。そして、収集された求人情報は加工され学生側へ向け企業情報として提供される。学生等は、前記企業情報を基に企業検索を行い、自分が志望する企業を選ぶことになる。学生に選ばれた企業側には学生がエントリーすることによって、学生の情報がテキストデータとして送られる。そして、これらの情報をもとに採用企業側は、電子メールなどを用いて学生とコンタクトを取りはじめる。

【0006】上述したような従来の就職・採用支援システムでは、やりとりされる情報のデータ形式はテキストデータ形式もしくはHTML(HTMLとは、ハイパーテキスト・マークアップ言語の略称であり、ウェブページを記述するためのマークアップ言語のことである。)形式である。データベースに蓄積し検索する場合などにおいてはテキスト形式であることが望ましく、ウェブ上で閲覧するためには、HTML形式であることが望ましいためである。

【0007】ところで、米国等の国々において一般的に「レジュメ」と呼ばれている英文履歴書(以下、レジュメとする)は、日本で一般的に使われている履歴書とは少し異なるものである。図21と図22はレジュメの一例を示すものである。レジュメとは欧米で使用されている履歴書の一種であり、一般的に日本で用いられている履歴書のように定められた形式はないが、応募目的、職歴・職務内容、学歴、資格などの情報を白い紙(何も記載されていない紙)の上に学生自らが自らの判断に基づき記載していくものである。たとえば、図21と図22は、同様の内容について記載しているが、まず、図21では名前108は全て大文字で記載されているのに対し、図22では、名前118は大文字と小文字で記載された斜体文字であり、さらに下線が記載されている。また、キャンパス内の住所102、112と実家の住所101、111においても、図21ではキャンパス内の住所102と実家の住所101は枠で覆われていないが、図22では、キャンパス内の住所112と実家の住所111はそれぞれ枠で覆われている。更に、図21では、項目(103a~107a)と本文(103b~107

10

20

30

40

50

b) が並列して記載されているのに対し、図22では、項目(113a~117a)と本文(113b~117b)は交互に記載されている。このように、レジュメ上には学生の経歴についての情報だけではなく、紙の上に描かれた人物歴としての意味もあり、1、2枚の紙の上に自分の経歴等をどのようにレイアウトしたのか、ということからも作成者の個性等の情報を得ることができ、紙の上に描かれた一つの「完成したレジュメ」としての価値もある。従って、米国をはじめとする各国の企業においては、優秀な人材バンクを自らの企業内に構築すべく、上記レジュメの収集に力をいれている。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】前述した従来のようなテキストベースの就職支援システムを用いた場合、学生のテキストベースの履歴情報は流通させることができる。しかしながら、前述したレジュメのように、レイアウト、文字形式など紙媒体のレジュメでは読みとることができた数多くの情報はテキストベースの情報からは読みとることができなくなってしまう、レジュメが本来持つ意味的要素は失われてしまう。

【0009】そこで、本発明は、上記した従来技術の欠点を除くためになされたものであって、その目的とするところは、テキスト情報のみを流通させるだけではなく、PDF形式やGIF形式でもレジュメ情報を流通させることにより、レジュメが本来持つ意味的要素を備え、且つ、ネットワークを介した流通にも対応することができる就職支援システムを提供することである。

【0010】また他の目的は、レジュメ情報の流通と共に、動画形式の情報を流通させることにより、遠隔地における就職支援システムを提供することである。

【0011】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明は、就職志願者端末、企業端末、就職支援サーバー、及びこれらの間を接続するネットワークを有して構成され就職志願者が行う就職活動及び企業が行う採用活動をネットワーク上で支援する就職支援システムに関するものであり、就職志願者が自己の履歴情報を自由にレイアウトしたレジュメの流通に係わる就職支援システムに関するものである。即ち、本発明の就職支援システムは、(イ)不特定多数の就職志願者端末からユーザー登録を行う際に就職志願者の身分を特定するための就職志願者情報を受信しユーザー登録を行うユーザー登録手段と、(ロ)就職志願者端末からの要求に対して登録者の認証を行うユーザー認証手段と、(ハ)就職志願者端末から就職志願者が自己の履歴情報を自由にレイアウトしたレジュメを受信するレジュメ受信手段と、

(ニ)レジュメのレイアウトで表される就職志願者の個性を伝達するためにレジュメ受信手段で受信したレジュメを複数のファイル形式に変換するファイル変換手段と、(ホ)ファイル変換手段で変換したレジュメのデー

タファイルをデータベースに蓄積するファイル蓄積手段と、(ヘ)ファイル蓄積手段で蓄積したデータファイルを検索し表示するレジュメ検索・表示手段とを有する就職支援システムである。

【0012】本発明の第2の特徴は、複数のファイル形式は、電子文書フォーマット及び画像ファイル形式であり、レジュメ検索表示手段は、ファイル蓄積手段で蓄積したデータファイルの電子文書フォーマット・ファイルを検索し、画像ファイル形式のデータファイルを表示する就職支援システムである。

【0013】本発明に係わる「就職志願者」は、学生であっても良いし、就職活動を行っている者全てを含んでも良い。

【0014】本発明に係わる「レジュメ」は、履歴書の一種であるが、日本で広く使用されている履歴書のように定められた形式はなく、何も記載されていない紙の上に作成者が自らの判断に基づき応募目的、職歴・職務内容、学歴、資格などの情報を記載していくものである。レジュメを作成する際に使用される文字フォント、色、紙質、レイアウトも全て作成者の判断に委ねられレジュメは作成される。従って、レジュメは職歴等のテキストデータから得られる文字情報のみならず、紙の上に描かれた作成者の人物歴としての情報も伝達されるものである。

【0015】就職志願者が作成し登録するこの「レジュメ」は、ワード、ワードパーフェクト、エクセル、一太郎など一般的に世の中で広く用いられている各種ワードプロセッサ・ファイル・フォーマットで作成されたものでも良いし、紙の上に印刷されたものでも良い。

【0016】ファイル変換手段で変換する「複数のファイル形式」は、電子文書フォーマット及び画像ファイル形式であることが好ましい。「電子文書フォーマット」には、テキスト形式及びPDF(ポータブル・ドキュメント・フォーマット)であることが好ましい。

【0017】ここで、テキスト形式の電子文書フォーマットとは、文字コードのみで構成された文書フォーマットであり、電子文書フォーマットとしてはもっとも基本的なものである。テキスト・ファイルに使用される文字コード・セットは、OSや使用言語により異なるが、アプリケーションが対応していれば、利用しているOSが対応する以外の文字コード・セットを使ったテキスト・ファイルも読み書きできる電子文書フォーマットである。

【0018】テキストファイルはレジュメ検索表示手段において、ファイル蓄積手段で蓄積したデータファイルの電子文書フォーマット・ファイルを検索する際に用いられる。

【0019】PDF(ポータブル・ドキュメント・フォーマット)とは、アドビ・システムズ社が開発した業界標準配信用電子文書フォーマットのことをいう。このPDFでは、データとして、テキスト、図や表、フォント

10

20

30

40

50

の種類、色、レイアウトなどの電子文書に関する全ての情報を保持し、どのような環境においても同じ形式で電子文書を閲覧・印刷することができる。

【0020】また、「画像ファイル」は、GIF（グラフィカル・インターチェンジ・フォーマット）、JPEG（ジョイント・フォトリフィック・エクスパート・グループ）などの一般的な画像データ形式で構わない。

【0021】GIF（グラフィカル・インターチェンジ・フォーマット）とは、コンピュサーブ社が開発した画像保存形式のことをいう。JPEG（ジョイント・フォトリフィック・エクスパート・グループ）とは、カラー静止画像の符合化を進めているISO（国際標準化機構）とITU-T（国際電気通信連合電気通信標準化部門）の合同組織、またはこの組織が制定した静止画像の圧縮・伸張方式を用いた画像ファイル形式のことをいう。

【0022】これらのPDFファイル、GIFファイルは、レジューム検索表示手段において、レジュームを表示する際に用いられる。

【0023】本発明によれば、1つのレジュームが複数のファイル形式でデータベースに蓄積されることから、テキストベースの検索を行うことが可能である。更に、PDFやGIFなどの画像ファイル形式でも流通させることにより、紙媒体が持ち得た情報、即ち作成者が選択した文字フォント及びレイアウト等の情報も正確に伝達することが可能となる。また、本発明によれば、就職志願者と採用企業との間のコミュニケーションを向上することが可能である。更に、本発明によれば、遠隔地にいる者の就職活動を支援することができる。

【0024】

【発明の実施の形態】以下、実施例に基づき、本発明を詳細に説明する。

【0025】（全体の構成）図1は、本発明を実施した就職支援システムにおけるシステム構成図である。

【0026】図1に示すように、就職支援システムは、就職支援サーバー1と、学生端末2と、企業端末3と、通信ネットワーク（インターネット）7により構成される。本発明の実施例においては、通信ネットワークとしてインターネットを挙げているが、パソコン通信などの他のネットワークでも良い。就職支援サーバー1、学生端末2、企業端末3は、インターネット7に接続されている。就職支援サーバー1は、オンラインで就職活動に関連する情報を提供し就職活動を支援するサーバーである。また、学生端末と、企業端末は、就職支援サーバーが提供する情報を送受信するユーザー端末である。ここでは、学生端末としているが、就職志願者の端末であれば学生でなくてもかまわない。

【0027】図2は本発明を実施した就職支援システムにおける就職支援サーバーのブロック図である。

【0028】就職支援サーバーは、入力装置21、出力

装置22、入出力装置23、通信制御装置24、一時記憶装置25、サーバー処理制御装置31、ユーザーデータベース40、レジュームデータベース41、企業データベース42により構成されている。

【0029】（a）入力装置21は、キーボード、マウスなどにより構成されている。

【0030】（b）出力装置22は、液晶ディスプレイ、CRTディスプレイなどの表示装置、インクジェットプリンタ、レーザープリンタなどの印刷装置などにより構成されている。

【0031】（c）入出力装置23は、外部装置とのインタフェースで、ここで外部装置とは、CD-ROM、MO、ZIPなどの記憶装置等である。

【0032】（d）通信制御装置24は、インターネット7に接続するためのインタフェースとなるものである。従って、モデム（MODEM）、宅内回線終端装置（DSU）、通信制御装置（CCU）、通信制御処理装置（CCP）等のデータ回線終端装置がこれに該当する。また、ターミナルアダプタ（TA）、ダイヤルアップルータ、LANボード等もこれに該当する。

【0033】（e）一時記憶装置25は、ROM（ロム：Read Only Memory）及びRAM（ラム：Random Access Memory）が組み込まれている。ROMは、サーバー処理制御装置31において実行されるプログラムを格納しているプログラムメモリ等として機能し、RAMはサーバー処理装置31におけるプログラム実行処理中に利用されるデータ等を格納したり、作業領域として利用されるデータメモリ等として機能する。

【0034】（f）ユーザーデータベース40は、ユーザーの顧客番号（以下、ID番号とする）、氏名、連絡先、メールアドレスなどのユーザーの情報が記録されている。また、ユーザーデータベース40においては、学生ユーザーであるのか、企業ユーザーであるのか、といった情報も記録されている。

【0035】（g）レジュームデータベース41は、学生ユーザーが作成した履歴書（以下、レジュームとする）情報について、複数のデータ形式で記録されている。

【0036】（h）企業データデータベース42は、企業に関する情報を記録するデータベースであり、企業ユーザーが学生に自社をアピールするための情報も企業データベース42に記録される。

【0037】サーバー処理制御装置31は、オンライン制御手段33、通信制御手段34、データベース管理手段35、登録手段31a、認証手段31b、ファイル受信手段31e、ファイル変換手段31f、ファイル更新手段31h、企業データ更新手段31i、蓄積情報検索手段31j、蓄積情報表示・送信手段31k、により構成される。

【0038】（a）オンライン制御手段33は、インターネットから受信したメッセージを解析し、要求されて

いる処理を実行させるものである。

【0039】(b) 通信制御手段34は、インターネットから受信したメッセージをオンライン制御手段に伝達するものである。

【0040】(c) データベース管理手段35は、ユーザーデータベース40、レジュメデータベース41、企業データデータベース42等との入出力が必要な場合は、このデータベース管理手段を開始、必要なファイルの格納場所を探し、ファイルの読み出し・書き込み処理がなされる。

【0041】(d) 登録手段31aは、就職支援システムを新たに利用する場合、学生ユーザー及び企業ユーザーが行うユーザー登録を制御する手段であり、登録手段31aは、ユーザーデータベース40の更新を行うものである。

【0042】(e) 認証手段31bは、既にユーザー登録を行った学生ユーザー及び企業ユーザーが、就職支援システムを利用する際に入力するID番号とパスワードを認証する手段である。その際、学生認証手段31bは、ユーザーデータベース40を参照するものである。

【0043】(f) ファイル受信手段31eは、学生ユーザーが作成し、就職支援システムのサーバー1へ送信した履歴書（以下、レジュメという）を受信するものである。

【0044】(g) ファイル変換手段31fは、ファイル受信手段31eで受信した学生ユーザーのレジュメを複数のデータ形式に変換する。複数のデータ形式とは、テキスト、PDF、GIFなどの文書フォーマット及び画像ファイルフォーマットである。

【0045】(h) ファイル蓄積手段31gは、1つのレジュメに対してファイル変換手段で変換された複数のファイルをレジュメデータベース41に蓄積する手段である。

【0046】(i) ファイル更新手段31hは、学生ユーザーが登録したレジュメの内容を変更したり、レジュメ自体を変更した場合、レジュメデータベース41に記録されている内容を更新する手段である。

【0047】(j) 企業データ更新手段31iは、企業ユーザーが登録した企業情報に関するデータを記録する企業データデータベース42の内容を更新する手段である。

【0048】(k) 蓄積情報検索手段31jは、学生ユーザー、企業ユーザーの要望に応じて、レジュメデータベース41もしくは企業データデータベース42を参照し、レジュメデータベース41もしくは企業データデータベース42に蓄積されている情報を検索するものである。この蓄積情報検索手段31jでは、たとえば、企業ユーザーからの条件に基づき学生情報を検索する。企業ユーザーが与える条件の一例として、学生の成績、学校のランク、専攻、卒業時期などがある。また、蓄積情報

検索手段31jでは、学生ユーザーからの条件に基づき企業データベース45を参照し企業情報の検索を行う場合もある。このとき、学生ユーザーから与えられる条件の一例として、企業規模、職種、業務内容等がある。

【0049】(l) 蓄積情報表示・送信手段31kは、蓄積情報検索手段31jで検索された情報をユーザーへ送信し、表示するものである。

【0050】(全体の動作) 図3は、本発明を実施した就職支援システムにおける就職支援サーバーのフローチャートである。

【0051】(a) まず、ステップS101において、学生端末2、企業端末3から、学生ユーザーか企業ユーザーかを判断する。企業ユーザーの場合は、ステップS102において、企業端末3から、新規会員登録であるか否かを判断する。新規会員登録である場合、ステップS103において、新規会員登録処理を行う。新規会員登録処理は、図2における登録手段31aを用いて実施する。新規会員登録ではない場合は、ステップS104において、企業端末3から、登録会員か否かを判断する。登録会員である場合は、ステップS105において、会員情報認証処理を行い、認証されれば、会員用メニューを表示する。会員情報認証処理は、図2における認証手段31bを用いて実施する。

【0052】(b) ステップS101において、学生ユーザーである場合、ステップS106において、新規会員登録か否かを判断する。新規会員登録である場合は、ステップS107において、新規会員登録処理を行う。新規会員登録処理は、図2における登録手段31aを用いて実施する。

【0053】(c) ステップS106において新規会員登録ではない場合は、次のステップS108において、学生端末2から、登録会員か否かを判断する。登録会員である場合は、ステップS109において、会員情報認証処理を行い、認証されれば会員用メニューを表示する。会員情報認証処理は、図2における認証手段31bを用いて実施する。

【0054】(d) ステップS108において、登録会員ではない場合、ステップS110において、学生端末2から、企業情報の閲覧か否かを判断する。企業情報の閲覧である場合、ステップS111において、企業情報表示処理を行う。企業情報表示処理は、図2における蓄積情報検索手段31j及び蓄積情報表示・送信手段31kを用いて実施する。

【0055】(新規会員登録処理：学生端末側) 図4は、図3の新規会員登録処理における学生端末側のフローチャートである。

【0056】(a) まず、ステップS120において、学生端末2は就職支援サーバー1に接続を行う。

【0057】(b) 次に、ステップS121において、氏名・住所・出身校・希望職種など、就職活動をするた

10

20

30

40

50

めに必要な個人情報(学生端末2において入力し、就職支援サーバー1に送信する。

(c) その後、ステップS122において、就職支援サーバー1から送信されるID番号を受信する。

【0058】(d) 最後に、ステップS123において、就職支援サーバー1との接続を切断する。

【0059】(新規会員登録処理：企業端末側) 図5は、図3の新規会員登録処理における企業端末側のフローチャートである。

【0060】(a) まず、ステップS125において、企業端末3は就職支援サーバー1に接続を行う。

【0061】(b) 次に、ステップS126において、企業名、住所等、就職活動に必要な企業情報を企業端末3において入力し、就職支援サーバー1に送信する。

【0062】(c) その後、ステップS127において、就職支援サーバー1から送信される企業用ID番号を受信する。

【0063】(d) 最後に、ステップS128において、就職支援サーバー1との接続を切断する。

【0064】(新規会員登録処理：サーバー側) 図6は、図3の新規会員登録処理における就職支援サーバー側のフローチャートであり、図4の学生側のシステム及び図5の企業側のシステムに対応したサーバー側のフローチャートである。

【0065】(a) まず、図4のステップS120、図5のステップS125に対応して、図6に示すステップS130において就職支援サーバー1は学生端末2、企業端末3からの接続を受け付ける。そして、ステップS131において、学生端末2、企業端末3から、学生ユーザーであるか、企業ユーザーであるかを判断する。

【0066】(b) 企業ユーザーである場合、ステップS126に対応して、ステップS132において、就職支援サーバー1は、企業端末3から企業の名称・住所などの企業情報を受信する。このとき、受信した情報は図2のユーザーデータベース40に記録する。

【0067】(c) 次に、ステップS133において、企業用ID番号を発行・登録する。このとき、就職支援サーバー1は、発行された企業用ID番号を図2のユーザーデータベース40に記録する。

【0068】(d) その後、ステップS127に対応して、ステップS134において、ステップS133で発行・登録した企業用ID番号を企業端末3に送信する。

【0069】(e) 最後に、ステップS138において、企業端末3との接続を切断する。

【0070】(f) ステップS130において、学生ユーザーである場合、ステップS121に対応して、ステップS135において、就職支援サーバー1は、学生端末2から学生ユーザーの名称・住所などの個人情報を受信する。このとき、受信した情報は図2のユーザーデータベース40に記録する。

【0071】(g) 次に、ステップS136において、学生用ID番号を発行・登録する。このとき、就職支援サーバー1は、発行された学生用ID番号を図2のユーザーデータベース40に記録する。

【0072】(h) その後、ステップS122に対応して、ステップS137において、ステップS136で発行・登録した学生用ID番号を学生端末2に送信する。

【0073】(i) 最後に、ステップS138において、学生端末2との接続を切断する。

【0074】(学生ユーザー・サービス選択処理：学生端末側) 図7は、学生ユーザーが本発明を実施した就職支援システムを用いて、就職支援サーバーからサービス内容を表示し、サービスを選択するサービス選択処理における学生端末2側のフローチャートである。

【0075】(a) まず、ステップS201において、学生端末2は就職支援サーバー1に接続を行う。

【0076】(b) 次に、ステップS202において、学生端末2から登録会員か否かの情報を就職支援サーバー1へ送信する。このとき、学生端末2には、図15のような画面が表示される。登録会員でない場合は、ステップS203において、その他のサービス図15中の項目46乃至項目49を選択をする。登録会員である場合は、項目45を入力し、ステップS204において、会員情報の認証処理が行われる。

【0077】(c) ステップS204において、登録会員であることが認証された後、ステップS205において、会員メニューとしてサービス内容が表示される。図16に示すように会員メニューの一例として、ホーム51a、受信箱51b、フォルダー51c、カバーレター51d、レジュメ51e、プロフィール51f、検索51g、ニュース51h、ヘルプ51iなどのサービス項目が表示されるので、学生ユーザーは受けたいサービスを選択する。

【0078】(d) ステップS206において、学生端末2から、ホーム51a項目が選択されたか否か判断される。学生ユーザーがホーム51aという項目を選択した場合、ステップS207において、各種情報更新処理が行われる。各種情報更新処理では、学生ユーザーのID番号やパスワードなどの変更等を行うことができる。ステップS206において、ホーム51a項目を選択しない場合、ステップS208へ進む。

【0079】(e) ステップS208において、学生端末2から、受信箱51b項目が選択されたか否か判断される。学生ユーザーが受信箱51bという項目を選択した場合、ステップS209において、電子メール送受信処理が行われる。電子メール送受信処理では、企業ユーザーから学生ユーザー宛に送信されたダイレクトメール及びその他の電子メールなどを受信したり、送信したり、閲覧したりすることができる。ステップS208において、受信箱51b項目を選択しない場合、ステップ

S210へ進む。

【0080】(f) ステップS210において、学生端末2からフォルダー51c項目が選択されたか否か判断される。学生ユーザーがフォルダー51cという項目を選択した場合、ステップS211において、フォルダー内の情報表示処理が行われる。フォルダー内の情報表示処理では、あらかじめフォルダーに区分して記録されている情報を読み出したり、整理したりすることができる。学生ユーザーがステップS209において受信したダイレクトメールやその他の電子メール等をフォルダーに区分して保存しておく、ステップS211において、学生ユーザーが所望する情報を簡単に閲覧することができる。

【0081】(g) ステップS212において、学生端末2からカバーレター51d項目が選択されたか否か判断される。学生ユーザーが、カバーレター51dという項目を選択した場合、ステップS213において、カバーレター登録処理が行われる。カバーレター登録処理では、学生ユーザーが予め一般的に世の中で広く使用されているワードプロセッサ・ファイル・フォーマットで作成したファイルを就職支援サーバー1へ送信し登録する。送信されたカバーレターは、図2のファイル受信手段31eで受信され、就職支援サーバー1に登録される。登録されたカバーレターは、就職支援サーバー1において、複数のファイル形式に変換された後、ファイル変換手段31fを用いて、レジメデータベース41に蓄積される。また、一度登録されたカバーレターに関しても、ファイル更新手段31hを用いて、登録ファイルを更新することもできる。更に、図17に示すような形で、閲覧したいファイルのデータ形式を選択し、閲覧することができる。

【0082】(h) ステップS214において、学生端末2からレジメ51e項目が選択されたか否か判断される。学生ユーザーが、レジメ51eという項目を選択した場合、ステップS215において、レジメ登録処理が行われる。レジメ登録処理では、学生ユーザーが予め一般的に世の中で広く使用されているワードプロセッサ・ファイル・フォーマットで作成したファイルを就職支援サーバー1へ送信し登録する。送信されたレジメは、図2のファイル受信手段31eで受信され、就職支援サーバー1に登録される。登録されたレジメは、就職支援サーバー1において、複数のファイル形式に変換された後、ファイル変換手段31fを用いて、レジメデータベース41に蓄積される。また、一度登録されたレジメに関しても、ファイル更新手段31hを用いて、登録ファイルを更新することもできる。更に、登録したファイルを図17に示すように、閲覧したいファイルのデータ形式を選択し、閲覧することができる。

【0083】(i) ステップS216において、学生端末2からプロフィール51f項目が選択されたか否か判

断される。学生ユーザーが、プロフィール51fという項目を選択した場合、ステップS217において、登録済個人情報編集処理が行われる。登録済個人情報編集処理では、新規会員登録時に登録した自らの個人情報の編集を行うことができる。

【0084】(j) ステップS218において、学生端末2から検索51g項目が選択されたか否か判断される。学生ユーザーが、検索51gという項目を選択した場合、ステップS219において、企業情報検索処理が行われる。企業情報検索では、学生ユーザーは、キーワード・業界・勤務地・企業分類など検索キーワードを指定し企業情報を検索し、検索結果の一覧を表示することができる。また、一覧画面では、登録済み企業や新規登録企業を別々に表示し閲覧することができる。

【0085】(k) ステップS220において、学生端末2からニュース58が選択されたか否か判断される。学生ユーザーが、ニュース58という項目を選択した場合、ステップS221において、メールマガジン・ニュース閲覧処理が行われる。メールマガジン・ニュース閲覧処理では、購読可能なメールマガジンの一覧が表示され、定期購読したいニュースレターなどを選択/解除することができる。選択されたニュースレターは、定期的に学生ユーザーの受信箱へ電子メールとして送信される。

【0086】(l) ステップS222において、学生端末2からヘルプ51iが選択されたか否か判断される。学生ユーザーが、ヘルプ51iという項目を選択した場合、ステップS223において、ヘルプ閲覧処理が行われる。ヘルプ閲覧処理では、FAQの一覧を表示したり、新規質問を作成したり、質問に対する回答を閲覧することができる。

【0087】(m) ステップS206からステップS222までのステップで、サービス内容が選択されない場合は、ステップS224において、学生端末2は就職支援サーバー1との接続を切断する。

【0088】(学生ユーザー・サービス選択処理：サーバー側) 図8は、図7の学生ユーザーに対するサービス選択処理における就職支援サーバー1側のフローチャートである。

【0089】(a) まず、図7のステップS201に対応して、ステップS231において、学生端末2からの接続を受け付ける。

【0090】(b) 次に、ステップS202に対応して、ステップS232において、登録会員か否か判断する。登録会員でない場合は、ステップS203に対応して、ステップS233において、その他の処理を行う。登録会員である場合は、ステップS204に対応して、ステップS234において、会員情報の認証処理を行う。

【0091】(c) ステップS234において、登録会

員であることが認証された後、ステップS205に対応して、ステップS235において、会員メニューとしてサービス内容を表示する。ここで表示する画面は、一例として図16に示すような画面を表示する。図16に示すように会員メニューの一例として、ホーム51a、受信箱51b、フォルダー51c、カバーレター51d、レジュメ51e、プロフィール51f、検索51g、ニュース51h、ヘルプ51iなどのサービス項目を表示する。

【0092】(d) ステップS206に対応して、ステップS236において、学生端末2から、ホーム51aが選択されたか否かを判断する。学生ユーザーがホーム51aという項目を選択した場合、ステップS207に対応して、ステップS237において、各種情報更新処理を行う。各種情報更新処理では、学生ユーザーのID番号やパスワードなどの変更処理などを行う。ステップS206に対応して、ステップS236において、ホーム51a項目が選択されない場合、ステップS238へ進む。

【0093】(e) ステップS208に対応して、ステップS238において、学生端末2から、受信箱51bが選択されたか否かを判断する。学生ユーザーが受信箱51bという項目を選択した場合、ステップS209に対応して、ステップS239において、電子メール送受信処理を行う。電子メール送受信処理では、企業ユーザーから学生ユーザー宛に送信されたダイレクトメール及びその他の電子メールなどを受信したり、送信したり、閲覧したりすることができる。ステップS238において、受信箱51b項目が選択されない場合、ステップS210へ進む。

【0094】(f) ステップS210に対応して、ステップS240において、学生端末2からフォルダー51cが選択されたか否かを判断する。学生ユーザーがフォルダー51cという項目を選択した場合、ステップS211に対応して、ステップS241において、フォルダ内の情報表示処理を行う。フォルダ内の情報表示処理では、学生ユーザーがあらかじめフォルダーに区分して記録されている情報を読み出したり、整理したりすることができる。学生ユーザーがステップS239において受信したダイレクトメールやその他の電子メール等をフォルダに区分して保存しておく、ステップS241において、学生ユーザーが所望する情報を簡単に閲覧することができる。

【0095】(g) ステップS212に対応して、ステップS242において、学生端末2からカバーレター51dが選択されたか否かを判断する。学生ユーザーが、カバーレター51dという項目を選択した場合、ステップS213に対応して、ステップS243において、カバーレター登録処理を行う。カバーレター登録処理では、学生ユーザーが予め一般的に世の中で広く使用されてい

るワードプロセッサ・ファイル・フォーマットで作成したファイルを学生端末2から受信し登録する。受信したカバーレターは、図2のファイル受信手段31eで受信し、就職支援サーバー1に登録する。登録したカバーレターは、就職支援サーバー1において、複数のファイル形式に変換した後、ファイル変換手段31fを用いて、レジュメデータベース41に蓄積する。また、一度登録したカバーレターに関しても、ファイル更新手段31hを用いて、登録ファイルを更新することができる。

【0096】(h) ステップS214に対応して、ステップS244において、学生端末2からレジュメ51eが選択されたか否かを判断する。学生ユーザーが、レジュメ51eという項目を選択した場合、ステップS215に対応して、ステップS245において、レジュメ登録処理を行う。レジュメ登録処理では、学生ユーザーが予め一般的に世の中で広く使用されているワードプロセッサ・ファイル・フォーマットで作成したファイルを学生端末2から受信し登録する。学生端末が送信したレジュメは、図2のファイル受信手段31eで受信し、就職支援サーバー1に登録する。登録したレジュメは、就職支援サーバー1において、複数のファイル形式に変換された後、ファイル変換手段31fを用いて、レジュメデータベース41に蓄積する。また、一度登録したレジュメに関しても、ファイル更新手段31hを用いて、登録ファイルを更新することもできる。

【0097】(i) ステップS216に対応して、ステップS246において、学生端末2からプロフィール51fが選択されたか否かを判断する。学生ユーザーが、プロフィール51fという項目を選択した場合、ステップS217に対応して、ステップS247において、登録済個人情報編集処理を行う。登録済個人情報編集処理では、学生ユーザーが新規会員登録時に登録した個人情報の編集を行うことができる。

【0098】(j) ステップS218に対応して、ステップS248において、学生端末2から検索51gが選択されたか否かを判断する。学生ユーザーが、検索51gという項目を選択した場合、ステップS219に対応して、ステップS249において、企業情報検索処理を行う。企業情報検索では、学生ユーザーが、キーワード・業界・勤務地・企業分類など検索キーワードを指定し企業情報を検索し、検索結果の一覧を表示する。また、一覧画面では、登録済み企業や新規登録企業を別々に表示する。

【0099】(k) ステップS220に対応して、ステップS250において、学生端末2からニュース51hが選択されたか否かを判断する。学生ユーザーが、ニュース51hという項目を選択した場合、ステップS221に対応して、ステップS251において、メールマガジン・ニュース閲覧処理を行う。メールマガジン・ニュース閲覧処理では、購読可能なメールマガジンの一覧を表

示し、学生ユーザーが定期購読したいニュースレターなどを選択/解除することができる。選択されたニュースレターは、定期的に学生ユーザーの受信箱もしくは学生ユーザーが指定したアドレスへ電子メールとして送信する。

【0100】(1) ステップS222に対応して、ステップS252において、学生端末2からヘルプ51iが選択されたか否か判断する。学生ユーザーが、ヘルプ51iという項目を選択した場合、ステップS223に対応して、ステップS253において、ヘルプ閲覧処理を行う。ヘルプ閲覧処理では、FAQの一覧を表示したり、新規質問を受信したり、質問に対する回答を表示する。

【0101】(m) ステップS206からステップS222までのステップに対応して、ステップS236からステップS252までのステップにおいて、サービス内容が選択されない場合は、ステップS224に対応して、ステップS254において、学生端末2からの接続を切断する。

【0102】(企業ユーザー・サービス選択処理：企業側) 図9は、企業ユーザーが本発明を実施した第1の実施の形態に係わる就職支援システムを用いて、就職支援サーバーからサービス内容を表示し、サービスを選択するサービス選択処理における企業端末3側のフローチャートである。

【0103】(a) まず、ステップS260において、企業端末3は就職支援サーバー1に接続する。

【0104】(b) 次に、ステップS261において、企業端末3は、登録会員であるか否かの情報を入力し、就職支援サーバー3へ送信する。このとき、図18に示すような画面が企業端末3には表示される。企業ユーザーが登録会員でない場合は、ステップS262において、その他のサービスを選択する。企業ユーザーが登録会員である場合は、ステップS263において、会員情報認証処理が行われる。

【0105】(c) ステップS263において、会員であることが認証された後、ステップS264において、就職支援サーバー1よりサービス内容が表示される。サービス内容の一例として、図19に示すように、ホーム61a、エントリ61b、メッセージ61c、ダイレクトメール61d、ご利用明細61e、サポート66などがある。ここで、企業ユーザーは受けたいサービスを選択し、その情報を就職支援サーバー1へ送信する。

【0106】(d) ステップS265において、企業ユーザーがホーム61aという項目を選択した場合、ステップS266において登録情報更新処理が行われる。登録情報処理では、企業ユーザーが開示している会社情報、採用情報などの編集を行うことができるほか、企業ユーザーが登録した登録情報の編集及びパスワードの変更等を行うことができる。企業ユーザーがホーム61a

という項目を選択しない場合、ステップS267の処理へ進む。

【0107】(c) ステップS267において、企業ユーザーがエントリ61bという項目を選択した場合、ステップS268においてエントリー処理が行われる。エントリー処理では、学生ユーザーから企業ユーザーへ登録がある場合など、電子メールとしてメッセージが送信され、ステップS268において表示される。エントリ61bの表示画面の一例を図20に示す。図20に示すように、企業ユーザーは、学生ユーザーからのメッセージを閲覧することができるとともに、それぞれの学生ユーザーが登録している個人情報、レジュメ、カバーレターなどをエントリーメッセージなどと共に整理・記録することができる。ステップS267において、企業ユーザーがエントリ61bを選択しない場合は、ステップS269の処理へ進む。

【0108】(d) ステップS269において、企業ユーザーがメッセージ61cという項目を選択した場合、ステップS270において、メッセージ送受信処理が行われる。メッセージ送受信処理では、応募してきた(エントリーしてきた)学生に対して、メッセージを送信することができる。企業ユーザーは、応募してきた学生を選択し、メッセージを送信した後、その学生のレジュメやカバーレターなどを既に入力したのか否かについてチェックすることができる。レジュメ等が未購入である場合は、その場ですぐに入力することができる。このメッセージシステムでは、レジュメ購入済みの学生に対してのみ送付することができるWebメールシステムである。また、企業ユーザーは、エントリーしてきた学生に対してのみ、メッセージを送付することができる。ステップS269において、メッセージ61cという項目が選択されない場合は、ステップS271へ進む。

【0109】(e) ステップS271において、企業ユーザーがダイレクトメール61dという項目を選択した場合、ステップS272において、ダイレクトメールの送信が行われる。ダイレクトメールの送信では、企業ユーザーは複数の学生に企業を紹介するメールを送信することができる。このとき、企業ユーザーが送信する学生は、当該企業へエントリーをしているか否かを問われな。また、ダイレクトメールの送信では、企業ユーザーが学生ユーザーに送信したダイレクトメールについて、学生ユーザーによって閲覧されたか否かを確認することができる。

【0110】(f) ステップS271において、ダイレクトメール61dという項目が選択されない場合は、ステップS273へ進む。ステップS273において、企業ユーザーが利用明細61eという項目を選択した場合、ステップS274において、利用明細表示処理が行われる。利用明細表示処理では、企業ユーザーが就職支援システムを用いて受けたサービスに対する利用金額の

詳細が表示され、閲覧することができる。ステップS273において、利用明細61eという項目が選択されない場合は、ステップS275へ進む。

【0111】(g) ステップS275において、企業ユーザーがヘルプ61fという項目を選択した場合、ステップS276において、ヘルプ閲覧処理が行われる。ヘルプ閲覧処理では、企業ユーザーが就職支援システムの使用方法などについての疑問を解消するために、FAQの一覧等が表示される。また、新規質問事項を作成し、就職支援サーバー1へ送信したり、質問事項に対する回答を閲覧することができる。

【0112】(h) ステップS265からステップS275までのステップで、企業ユーザーによってサービス内容が選択されない場合は、ステップS277において、企業端末3は就職支援サーバー1との接続を切断する。

【0113】(企業ユーザー・サービス選択処理：サーバー側) 図10は、図9の企業ユーザーに対するサービス選択処理における就職支援サーバー1側のフローチャートである。

【0114】(a) まず、ステップS260に対応して、ステップS280において、企業端末3からの接続を受け付ける。

【0115】(b) 次に、ステップS261に対応して、ステップS281において、企業端末3から登録会員であるか否かが判断する。このとき、図18に示すような画面を企業端末3に表示する。企業ユーザーが登録会員でない場合は、ステップS262に対応して、ステップS282において、その他のサービスを選択する。企業ユーザーが登録会員である場合は、ステップS263に対応して、ステップS283において、会員情報認証処理を行う。

【0116】(c) ステップS263に対応して、ステップS283において、会員であることが認証された後、ステップS264に対応して、ステップS284において、企業端末3にサービス内容を表示する。サービス内容の一例として、図19に示すように、ホーム61a、エントリ61b、メッセージ61c、ダイレクトメール61d、ご利用明細61e、サポート66などがある。ここで、企業端末3から企業ユーザーが受けたいサービス情報を受信する。

【0117】(d) ステップS265に対応して、ステップS285において、企業ユーザーがホーム61aという項目を選択したか否かが判断される。ホーム61aという項目が選択された場合、ステップS266に対応して、ステップS286において登録情報更新処理を行う。登録情報処理では、企業ユーザーが開示している会社情報、採用情報などの編集を行うほか、企業ユーザーが登録した登録情報の編集及びパスワードの変更等を行う。企業ユーザーがホーム61aという項目を選択しな

い場合、ステップS287の処理へ進む。

【0118】(c) ステップS267に対応して、ステップS287において、企業ユーザーがエントリ61bという項目を選択したか否かが判断される。企業ユーザーがエントリ61bという項目を選択した場合、ステップS268に対応して、ステップS288においてエントリー処理が行われる。エントリー処理では、学生ユーザーから企業ユーザーへ登録がある場合など、電子メールとしてメッセージが送信し、ステップS268において企業端末3に図20のような画面を表示する。ステップS287において、企業ユーザーがエントリ61bが選択されない場合は、ステップS289の処理へ進む。

【0119】(d) ステップS269に対応して、ステップS289において、企業端末3から、企業ユーザーがメッセージ61cという項目を選択したか否かが判断される。メッセージ61cという項目が選択された場合、ステップS270に対応して、ステップS290において、メッセージ送受信処理が行われる。メッセージ送受信処理では、企業ユーザーが応募学生に対して、電子メールなどを用いてメッセージを送信することができるようにしている。そして、企業ユーザーは、応募学生を選択し、メッセージを送信した後、その学生のレジюмеやカバーレターなどを既に購入したのか否かについてチェックすることができるシステムを提供している。このとき、企業ユーザーが応募学生のレジюме等について未購入である場合、就職支援サーバー1は、企業端末3へ購入を促すメッセージを送信する。ステップS289において、メッセージ61cという項目が選択されない場合は、ステップS291へ進む。

【0120】(e) ステップS271に対応して、ステップS291において、企業端末3から、企業ユーザーがダイレクトメール61dという項目を選択したか否かが判断される。ダイレクトメール61dが選択された場合、ステップS272に対応して、ステップS292において、ダイレクトメールの送受信が行われる。ダイレクトメールの送受信では、企業ユーザーが学生ユーザーに送信したダイレクトメールについて、学生ユーザーによって閲覧されたか否かを確認することができる。ステップS291において、ダイレクトメール61dという項目が選択されない場合は、ステップS293へ進む。

【0121】(f) ステップS273に対応して、ステップS293において、企業端末3から、企業ユーザーが利用明細61eという項目を選択したか否かを判断する。利用明細61eが選択された場合、ステップS274に対応して、ステップS294において、利用明細表示処理を行う。利用明細表示処理では、企業ユーザーが就職支援システムを用いて受けたサービスに対する利用金額の詳細を表示する。ステップS293において、利用明細61eという項目が選択されない場合は、ステッ

アS295へ進む。

【0122】(g) ステップS275に対応して、ステップS295において、企業端末3から、企業ユーザーがヘルプ61fという項目を選択したか否かを判断する。ヘルプ61fという項目が選択された場合、ステップS276に対応して、ステップS296において、ヘルプ閲覧処理を行う。ヘルプ閲覧処理では、企業ユーザーが就職支援システムの使用法などについての疑問を解消するために、FAQの一覧等を表示する。また、企業ユーザーが作成した新規質問事項を受信したり、質問事項に対する回答を企業端末3へ送信したりする。

【0123】(h) ステップS285からステップS295までのステップで、企業ユーザーによってサービス内容が選択されない場合は、ステップS297において、企業端末3からの接続を切断する。

【0124】(レジュメ登録処理：学生端末側) 図11は、学生ユーザーが本発明を実施した第1の実施の形態に係わる就職支援システムを用いて、就職支援サーバーにレジュメ等を登録するレジュメ登録処理における学生端末2側のフローチャートである。

【0125】(a) まず、ステップS301において、学生端末2は就職支援サーバー1に接続を行う。

【0126】(b) 次に、ステップS303において、学生用ID番号・パスワードなどを入力し、就職支援サーバー1に送信する。

【0127】(c) その後、ステップS305において、図3のステップS107に対応して、ステップS303で入力されたID番号・パスワードなどが有効か否か判断される。ID番号・パスワードが有効でない場合、ステップS317において、就職支援サーバーとの接続を切断する。ID番号・パスワードが有効である場合、ステップS307において、就職支援システムが提供するサービス内容が表示され、表示されたサービス内容から所望のサービスを選択する。

【0128】(d) 次に、ステップS309において、学生端末2からレジュメを登録するか否か判断する。レジュメの登録ではない場合、ステップS311において、その他のサービスを選択する。レジュメの登録である場合、ステップS313において、レジュメを就職支援サーバー1に送信する。

【0129】(e) その後、ステップS315において、学生端末2から他に送信するものがあるか否かについて判断する。他にも送信するものがある場合は、ステップS313からステップS315までの処理を繰り返す。他に送信するものがない場合は、ステップS317において、就職支援サーバー1との接続を切断する。

【0130】(レジュメ登録処理：サーバー側) 図12は、図11におけるレジュメ登録処理における就職支援サーバー1側のフローチャートである。

【0131】(a) まず、図11のステップS301に

対応して、図12に示すステップS321において、就職支援サーバー1は、学生端末2からの接続を受け付ける。

【0132】(b) 次に、ステップS303に対応して、ステップS323において、就職支援サーバー1は、学生端末2から入力・送信されたID番号、パスワードなどを受信する。そして、ステップS305に対応して、ステップS325において、ステップS323で受信したID番号、パスワードなどの有効性をチェックする。ID番号、パスワードなどが有効ではない場合、ステップS317に対応して、ステップS345において学生端末2からの接続を切断する。ID番号、パスワードなどが有効である場合は、ステップS307に対応して、ステップS327においてサービス内容を表示し、ステップS329において選択項目情報を受信する。そして、ステップS331において、選択項目のサービス画面を表示する。

【0133】(c) その後、ステップS309に対応して、ステップS333において、学生端末2からレジュメの登録であるか否かを判断する。レジュメの登録ではない場合、ステップS311に対応し、ステップS335においてその他の処理を行う。レジュメの登録である場合、ステップS313に対応して、ステップS337において、学生端末2から送信されたレジュメを図2のファイル受信手段31fを用いて受信する。

【0134】このとき、受信するファイルの形式は、ワード、ワードパーフェクト、エクセルなどの一般的に世の中で広く用いられている各種ワードプロセッサ・ファイル・フォーマットで作成されたものを受信する。これらのファイルが紙に印刷されたもの、またはファクシミリなどでサーバーへ送信されても構わない。紙に印刷されたものである場合は、スキャナなどを用いて、電子化し、電子文書が受信された場合と同様に、複数のファイル形式に変換される。

【0135】(d) そして、ステップS339において、ステップS337において受信したレジュメを複数のファイル形式に変換するファイル形式の変換処理を行う。ファイル形式の変換処理は、図2のファイル形式変換手段31fを用いて行われる。本発明で用いられるファイル形式は、テキスト形式、PDF形式、GIF形式であるが、その他の文書フォーマット及び画像ファイル形式であっても構わない。

【0136】(e) 更に、ステップS341において、ステップS339で複数のファイル形式に変換されたデータを図2のファイル蓄積手段31gを用いてレジュメデータベース41に記録し蓄積する。その後、ステップS315に対応して、ステップS343において、学生端末2から他にレジュメ等が送信されるか否かを判断する。学生端末2から受信するレジュメ等が他にもある場合は、ステップS337からステップS343までの処

理を繰り返す。

【0137】(f)次に受信するレジュームがない場合は、ステップS317に対応して、ステップS345において、学生端末からの接続を切断する。

【0138】(レジューム閲覧処理：企業端末側)図13は、企業ユーザーが本発明を実施した第1の実施の形態に係わる就職支援システムを用いて、就職支援サーバーから学生ユーザーのレジュームを閲覧するレジューム閲覧処理における企業端末3側のフローチャートである。

【0139】(a)まず、ステップS351において、10 企業端末3は就職支援サーバー1に接続を行う。

【0140】(b)次に、ステップS353において、企業端末3を用いてステップS127で取得したID番号・パスワードなどを入力し、就職支援サーバー1に送信する。

【0141】(c)その後、ステップS355において、ステップS353で就職支援サーバー1に送信したID番号・パスワードなどが有効か否か判断される。ID番号・パスワードが有効ではない場合、ステップS371において、就職支援サーバーとの接続を切断する。20 ID番号・パスワードなどが有効である場合、ステップS357において、就職支援システムが提供するサービス内容が表示され、表示されたサービス内容から所望のサービスを選択する。

【0142】(d)次に、ステップS359において、登録学生のレジュームを閲覧するか否か判断する。登録学生のレジュームを閲覧しない場合、ステップS361において、その他のサービスを選択する。登録学生のレジュームを閲覧する場合は、ステップS363において、閲覧したいファイルを特定し、ステップS365において、30 閲覧したいファイルのファイル形式を選択する。そして、ステップS367において、企業端末3を用いて、閲覧したいファイルのファイル情報を就職支援サーバー1へ送信する。

【0143】(e)ステップS369において、閲覧を希望したファイルが就職支援サーバー1から送信され、企業端末3でファイルを受信する。ステップS371において、他に閲覧したいファイルがあるか否か判断する。他に閲覧したいファイルがある場合は、ステップS363からステップS371までの処理を繰り返す。他に40 閲覧したいファイルがない場合は、ステップS373において就職支援サーバーとの接続を切断する。

【0144】(レジューム閲覧処理：サーバー側)図14は、図13のレジューム閲覧処理における就職支援サーバー1側のフローチャートである。

【0145】(a)まず、図13のステップS351に対応して、ステップS375において、就職支援サーバー1は、企業端末3からの接続を受け付ける。

【0146】(b)次に、ステップS353に対応して、ステップS377において、就職支援サーバー1 50

は、企業端末3から入力・送信されたID番号、パスワードなどを受信する。そして、ステップS355に対応して、ステップS379において、ステップS377で受信したID番号・パスワードなどの有効性をチェックする。このとき、就職支援サーバーは、図2の認証手段31bを用いてユーザーデータベース40を参照しパスワードの有効性を判断する。ID・パスワードが有効ではない場合、ステップS373に対応して、ステップS399において、企業端末3からの接続を切断する。ID・パスワードが有効である場合は、ステップS359に対応して、ステップS381において、サービス内容を表示する。

【0147】(c)その後、ステップS383において、企業端末3からサービス内容の選択項目の情報を受信する。ステップS385において、企業ユーザーが選択した選択項目のサービス画面を表示する。

【0148】(d)次に、ステップS359に対応して、ステップS387において、企業端末3から、登録学生のレジュームを閲覧するか否か判断する。レジュームを閲覧しない場合は、ステップS361に対応して、ステップS389において、その他処理を行う。レジュームを閲覧する場合は、ステップS363からステップS367に対応して、ステップS391において、企業ユーザーが選択したファイル情報を受信する。

【0149】(e)ステップS393において、企業ユーザーが選択したファイルデータをレジュームデータベース45に記録されているデータを参照し抽出する。その後、ステップS369に対応して、ステップS395において、ステップS393において抽出されたデータを企業端末3に送信する。そして、ステップS371に対応して、ステップS397において、企業端末3から次の閲覧要求があるか否かを判断する。次の閲覧要求がある場合は、ステップS391からステップS397までの処理を繰り返す。次の閲覧要求がない場合は、ステップS373に対応して、ステップS399において、企業50 端末3からの接続を切断する。

【0150】このように本発明によれば、テキスト情報のみを流通させるだけではなく、複数のデータ形式、たとえばPDF(ポータブル・ドキュメント・フォーマット)やGIF(グラフィカル・インターチェンジ・フォーマット)でもレジューム情報を流通させることにより、レジュームが本来持つ意味的要素を備え、且つ、ネットワークを介した流通にも対応することができるシステムを提供することができる。

【0151】ここで、PDFとは、アドビ・システムズ社が開発した業界標準の配信用電子文書フォーマットのことをいう。このPDFでは、データとして、テキスト、図や表、フォントの種類、色、レイアウトなどの電子文書に関する全ての情報を保持し、どのような環境においても同じ形式で電子文書を閲覧・印刷することがで

きる。また、GIFとは、コンピュ・サーバ社が開発した画像保存形式のことをいう。

【0152】(表示画面の説明1)図15は、本発明の就職支援システムにおいて学生ユーザー向けに表示されるWebページのデザインの例である。

【0153】図11のステップS303に対応して、学生ユーザーは学生端末2を介して、ID番号パスワード入力部45において、学生ユーザーのID番号を項目45aに入力し、更に、パスワードを項目45bに入力する。項目45a及び項目45bへの入力後、ボタン45cをクリックすることによって、学生端末2から就職支援サーバー2へ学生ユーザーのID番号やパスワード等の情報が送信される。学生ユーザーがパスワードを忘れてしまった場合は、項目45dを選択すると、ID番号照会処理が行われる。

【0154】図3のステップS107に対応して、学生ユーザーが新規会員登録を行う場合、ボタン46を選択する。

【0155】図3のステップS111に対応して、学生ユーザーが企業情報検索を行う場合、項目47aにキーワードを入力し、項目47bでキーワードの種類を限定し検索ボタン47eを選択して検索を開始したり、項目47cや項目47d等から分野、所在地等を指定して検索ボタン47eを選択して検索を開始することもできる。また、項目47fを選択した場合、全登録企業の一覧を閲覧したり、項目47gを選択した場合、新着企業情報として最近加えられた企業の情報のみを閲覧することができる。更に、項目47hでは、社名を五十音順で検索することができたり、項目47iでは、社名をアルファベット順で検索することができたり、項目47jでは、検索方法のヒントを閲覧することができる。

【0156】図15の項目48aを選択した場合、図15のような学生ユーザー向けの画面が表示される。また、ユーザーが企業ユーザーである場合は、項目48bを選択すると、図18のような企業ユーザー向け画面が表示される。マーク48は、現在表示されている画面がどのレベルであるのか(学生ユーザーレベルなのか、企業ユーザーレベルなのか)が一目でわかるように表示される。

【0157】項目49a、項目49b、項目49c、項目49d、項目49e等では、就職支援サーバーがユーザーへ提供するサービスについての説明ページへリンクがはられている。

【0158】そして、広告スペース50では、企業等の広告を掲載することによって、広告収入を得ることができる。

【0159】(表示画面の説明2)図16は、本発明の就職支援システムにおいて学生ユーザー向けに表示されるWebページのデザインの例である。

【0160】図7のステップS206からステップS2

23まで及び図8のステップS236からステップS253までに対応して、51aから51iまでのメニュー項目が表示される。このとき、図7のステップS213及び図8のステップS243に対応して、図16はカバーレター51dが選択された場合、図16のような画面が表示される。表52には、学生ユーザーが登録したカバーレターのリストが表示される。項目52aには登録したカバーレターのファイル名、項目52bには登録した日がそれぞれ表示される。これらの登録したファイルの編集・差し替えを行う場合は項目52cを選択、登録したファイルをダウンロードする場合には項目52dを選択、登録したファイルを削除するには項目52eを選択する。新たにカバーレターを登録する場合には、ボタン53を選択する。

【0161】更に、学生ユーザー向けに表示されるWebページのトップ画面に戻る場合には、項目54を選択する。また、ログアウトする場合は、項目55を選択する。

【0162】(表示画面の説明3)図17は、本発明の就職支援システムにおいて学生ユーザー向けに表示されるWebページのデザインの例である。図17では、図7のステップS213及び図8のステップS243で登録されたカバーレターや、図7のステップS215及び図8のステップS245で登録されたレジュメなどを閲覧する際に表示される画面の一例を示す。

【0163】本発明の就職支援システムを用いてカバーレターやレジュメ等を閲覧すると、閲覧したい形式を選択することができるため、カバーレターやレジュメ本来の姿、即ち作成者が作成時にイメージしたレイアウトを閲覧したい場合は、PDFやGIFといったフォーマットを選択することによって、図17のカバーレター56のように閲覧することができる。もし、図17のカバーレター56がテキスト形式のみで表示されるならば、レイアウトはどれも同じになってしまう。しかし、文字フォントやレイアウトが保持されるようなPDFやGIFといった形式では、文字フォントや文字位置等のレイアウトも作成者が意図したとおりに表示することができる。また、本発明では、複数のファイル形式に変換されデータベースに蓄積されることから、検索等様々な処理にも対応していくことが可能である。

【0164】(表示画面の説明4)図18は、本発明の就職支援システムにおいて企業ユーザー向けに表示されるWebページのデザインの例である。

【0165】図3のステップS102からステップS105に対応して、新規登録会員である場合は、ボタン58を選択すると、図5のステップS125からステップS128までの処理及び図6のステップS130からステップS138までの新規会員登録処理が行われる。また、図3のステップS104からステップS105に対応して、企業ユーザーが登録会員である場合は、項目5

7a、項目57b、にID番号及びパスワードを入力し、ボタン57cを選択すると、会員情報認証処理が行われる。また、項目59aから項目59eは、図15の項目49aから項目49eの項目を企業ユーザー向けにしたものである。

【0166】(表示画面の説明5)図19は、本発明の就職支援システムにおいて企業ユーザー向けに表示されるWebページのデザインの例である。

【0167】図9のステップS264からステップS276まで及び図10のステップS284からステップS296までに対応して、図19のホーム61a、エントリ61b、メッセージ61c、ダイレクトメール61d、利用明細61e、ヘルプ61fなどのサービスメニューが表示される。

【0168】これらのメニューが選択されると、それぞれのメニューに応じて画面が表示されるが、図19では、ホーム61aが選択された場合の一例を示す。企業ユーザーがホーム61aを選択した場合、各種変更手続きを提供する項目62、企業ユーザーへのメッセージを表示した項目63、項目64等が表示される。項目62aが選択されると、企業が予め登録していた登録情報の変更手続き、項目62bが選択されると、アカウント情報の編集手続き、項目62cが選択されるとID番号・パスワードの変更手続きが行われる。

【0169】(表示画面の説明6)図20は、本発明の就職支援システムにおいて企業ユーザー向けに表示されるWebページのデザインの例である。特に、図20では、エントリ61bが選択された場合に表示される画面について示している。

【0170】項目66aは、略号化されているか否かについて表示しており、項目66cにエントリされた日付、項目66dにエントリ者の学校名、項目66eにエントリ者が取得している学位、項目66fにエントリ者の専攻、項目66gにエントリ者の成績、項目66hにエントリ者の卒業時期、項目66iにエントリ者の通う学校のランクが表示される。そして、項目66jではエントリ者が就職支援サーバー1に登録している情報を閲覧、項目66kではエントリ者に対するメモの作成等を行うことができる。

【0171】更に、項目66bにチェックマークをつけておくと、項目67aから項目67fでエントリ者にまたは就職支援サーバー1に対して、様々な機能の一括処理を行うことができる。たとえば、項目67aを選択すると、項目66bにチェックマークがついているエントリ者のレジュメを取得することができ、項目67bを選択すると、項目66bでチェックされているエントリ者へメッセージを送信することができる。また、項目67cではエントリ者らの情報のダウンロード、67dではチェックされたエントリ者の削除、67fではチェックされたエントリ者の移動等を行うことができる。

【0172】(その他の実施の形態)更に、上記記載した実施例以外に、本発明を実施した就職支援システムにおいて、オンライン上で面接を行うこともできる。このとき、企業側端末3では、面接相手である学生の姿が表示されるほか、学生のレジュメ及び企業面接者が学生について記載するメモ等も同時に表示することができる。また、学生端末2では、企業面接者の姿が表示されるほか、該企業へ応募した際に用いたレジュメを学生端末2に同時に表示することができる。

10 【0173】本発明の実施の形態によれば、テキスト情報のみを流通させるだけではなく、複数のデータ形式でもレジュメ情報を流通させることにより、レジュメが本来持つ意味的要素を備え、且つ、ネットワークを介した流通にも対応することができる就職支援システムを提供することができる。

【0174】また、テキスト情報のみを蓄積するだけではなく、複数のデータ形式でもレジュメ情報を蓄積するため、レジュメ内文字の検索精度を高めることができる。更に、電子メールへの添付ファイルとしてレジュメを受け付ける場合とは異なり、就職支援サーバー1を通して、フィルタリングされたレジュメを閲覧・蓄積することができるため、企業ユーザーにとってウィルス混入の危険性が少なくなるほか、ファイルキャビネットなどの物理的な保存スペースが必要ではなくなる。

【0175】本発明のその他の実施の形態によれば、遠隔地における就職活動を支援することができる。

【0176】上記のように、本発明の実施の形態を記載したが、この開示の一部をなす論述及び図面はこの発明を限定するものであると理解すべきではない。この開示から当業者には様々な代替実施の形態、実施例及び運用技術が明らかになるといえる。

【0177】本発明の実施の形態においては、通信ネットワークとしてインターネット7を挙げているが、パソコン通信などのその他のネットワークでもかまわない。

【0178】又、本発明の実施の形態において、学生ユーザー及び学生端末という言葉を用いているが、就職志願者及び就職志願者端末であれば学生でなくてもかまわない。

【0179】又、本発明の実施の形態において、学生端末2より送信され就職支援サーバー1において受信され変換される複数のファイル形式は、文書フォーマット及び画像ファイル形式のなかでも、テキスト、PDF、GIF等を挙げているが、その他の文書フォーマット及び画像ファイル形式であってもかまわない。

【0180】又、本発明の実施の形態において、企業ユーザーが各々の企業データを就職支援サーバー1へ送信し、就職支援サーバー1は企業ユーザーから送信された企業データを企業データデータベース42に蓄積するとしているが、企業データデータベース42に蓄積する企業データは、企業ユーザー自らが入力したものだけでは

なく、企業を紹介する他の媒体（企業のウェブページ、その他企業情報を提供するウェブページなど）などから収集し、表示したり、蓄積したりしてもかまわない。

【0181】このように、本発明はここでは記載していない様々な実施の形態などを含むことは勿論である。従って、本発明の技術的範囲は上記の説明から妥当な特許請求の範囲に係わる発明特定事項によってのみ定められるものである。

【0182】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、テキスト情報のみを流通させるだけではなく、複数のデータ形式でもレジュメ情報を流通させることにより、レジュメが本来持つ意味的要素を備え、且つ、ネットワークを介した流通にも対応することができる就職支援システムを提供することができる。

【0183】また、テキスト情報のみを蓄積するだけではなく、複数のデータ形式でもレジュメ情報を蓄積するため、レジュメ内文字の検索精度を高めることができる。更に、電子メールへの添付ファイルとしてレジュメを受け付ける場合とは異なり、就職支援サーバーを通して、フィルタリングされたレジュメを閲覧・蓄積することができるため、企業ユーザーにとってウィルス混入の危険性が少なくなるほか、ファイルキャビネットなどの物理的な保存スペースが必要ではなくなる。

【0184】また、レジュメ情報の流通と共に、動画形式の情報を流通させることにより、遠隔地における就職支援システムを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の就職支援システムにおけるシステム構成図である。

【図2】本発明の就職支援システムにおける就職支援サーバーのブロック図である。

【図3】本発明の就職支援システムにおける就職支援サーバーのフローチャートである。

【図4】本発明の就職支援システムにおける新規会員登録を行う場合の学生端末側のフローチャートである。

【図5】本発明の就職支援システムにおける新規会員登録を行う場合の企業端末側のフローチャートである。

【図6】本発明の就職支援システムにおける新規会員登録を行う場合の就職支援サーバーのフローチャートである。

【図7】本発明を実施した就職支援システムにおいて学生ユーザーがサービス選択を行う場合の学生端末側のフローチャートである。

【図8】本発明を実施した就職支援システムにおいて学生ユーザーがサービス選択を行う場合の就職支援サーバー側のフローチャートである。

【図9】本発明を実施した就職支援システムにおいて企業ユーザーがサービス選択を行う場合の企業端末側のフローチャートである。

【図10】本発明を実施した就職支援システムにおいて企業ユーザーがサービス選択を行う場合の就職支援サーバー側のフローチャートである。

【図11】本発明の就職支援システムにおけるレジュメ登録を行う場合の学生端末側のフローチャートである。

【図12】本発明の就職支援システムにおけるレジュメ登録を行う場合の就職支援サーバー側のフローチャートである。

【図13】本発明の就職支援システムにおけるレジュメ閲覧を行う場合の企業端末側のフローチャートである。

【図14】本発明の就職支援システムにおけるレジュメ閲覧を行う場合の就職支援サーバー側のフローチャートである。

【図15】本発明の就職支援システムにおいて学生ユーザー向けに表示されるWebページのデザインの例である。

【図16】本発明の就職支援システムにおいて学生ユーザー向けに表示されるWebページのデザインの例である。

【図17】本発明の就職支援システムにおいて学生ユーザー及び企業ユーザー向けに表示されるWebページのデザインの例である。

【図18】本発明の就職支援システムにおいて企業ユーザー向けに表示されるWebページのデザインの例である。

【図19】本発明の就職支援システムにおいて企業ユーザー向けに表示されるWebページのデザインの例である。

【図20】本発明の就職支援システムにおいて企業ユーザー向けに表示されるWebページのデザインの例である。

【図21】本発明の就職支援システムにおいて流通するレジュメの例である。

【図22】本発明の就職支援システムにおいて流通するレジュメの例である。

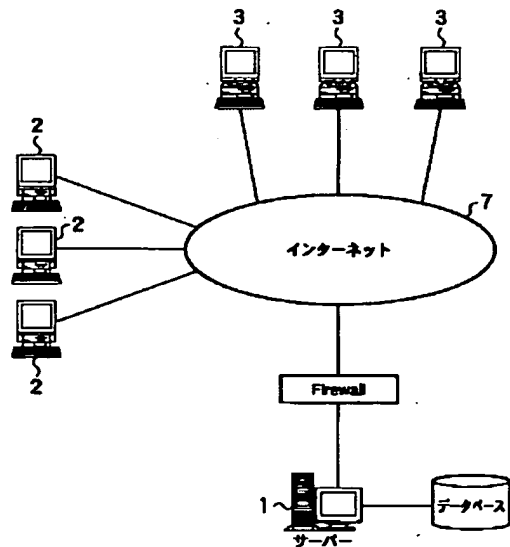
【符号の簡単な説明】

- 1 サーバー
- 2 学生端末
- 3 企業端末
- 7 インターネット
- 21 入力装置
- 22 出力装置
- 23 入出力装置
- 24 通信制御装置
- 25 一時記憶装置
- 31 サーバー処理制御装置
- 31a 登録手段
- 31b 認証手段
- 31e ファイル受信手段
- 31f ファイル交換手段

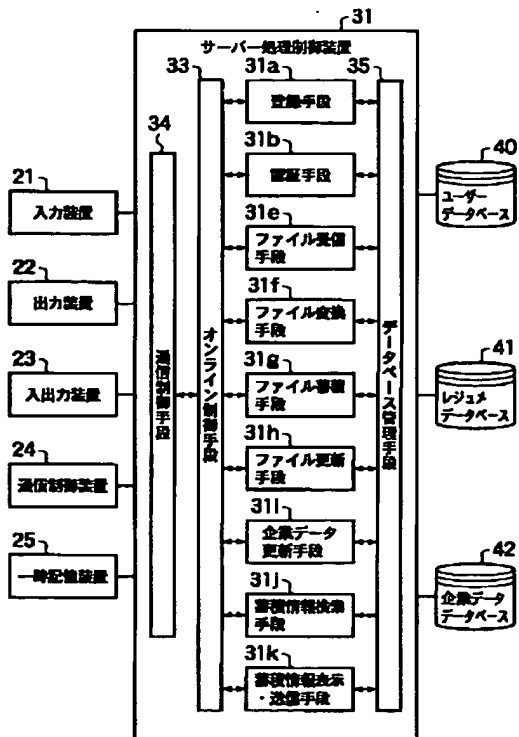
31g ファイル更新手段
 31h 企業データ更新手段
 31i 蓄積情報検索手段
 31j 蓄積情報表示・送信手段
 33 オンライン制御手段
 34 通信制御手段
 35 データベース管理手段
 40 ユーザーデータベース
 41 レジューメデータベース
 42 企業データデータベース
 45 ID番号パスワード入力部
 45a、45b、45d、47a～47d、47f、47g～47i、48a～48c、49a～49e、52a～52e、59a～59e、67a～67f項目
 45c、46、47e、53、57c、58、ボタン
 50 広告スペース
 50a～50h 広告
 51a ホーム
 51b 受信箱
 51c フォルダ
 51d カバーレター

51e レジューメ
 51f プロファイル
 51g 検索
 51h ニュース
 51i ヘルプ
 52 表
 61a ホーム
 61b エントリ
 61c メッセージ
 10 61d ダイレクトメール
 61e 利用明細
 61f ヘルプ
 100、110 レジューメ
 101、111 実家の住所
 102、112 キャンパス内の住所
 103、113 応募目的
 104、114 応募職種
 105、115 学歴
 106、116 職歴・職務内容
 20 107、117 活動
 108、118 名前

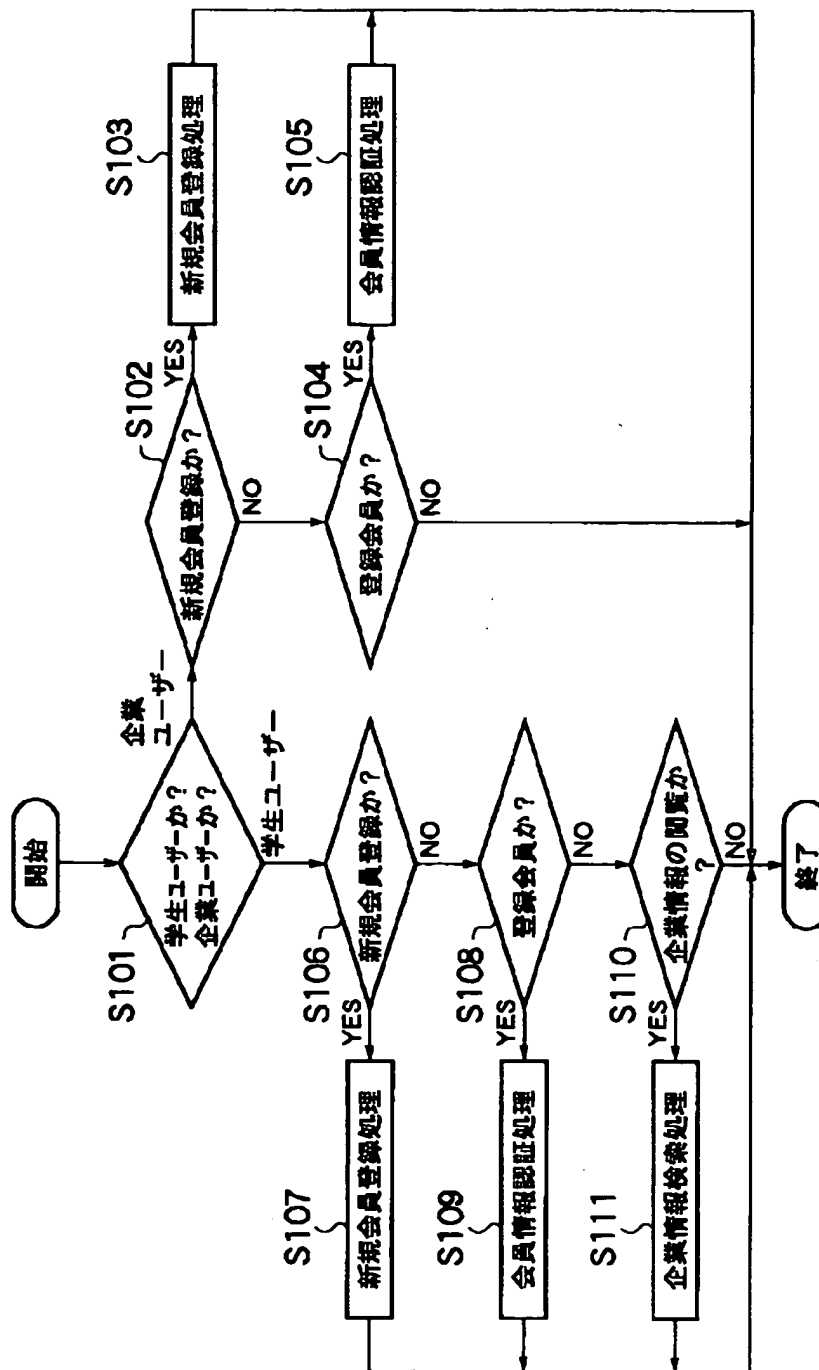
【図1】



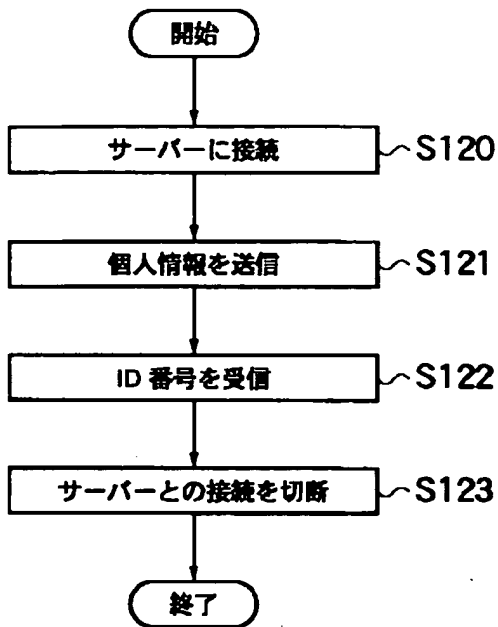
【図2】



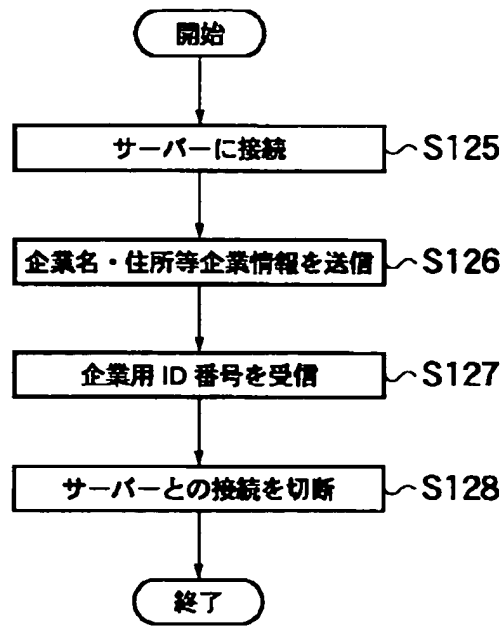
【図3】



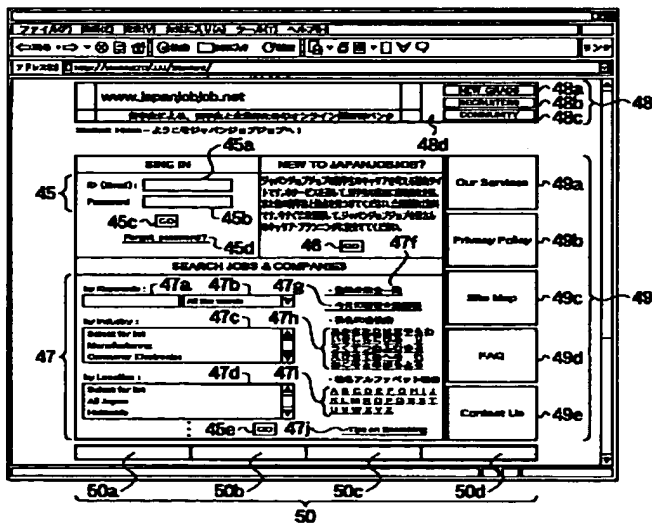
【図4】



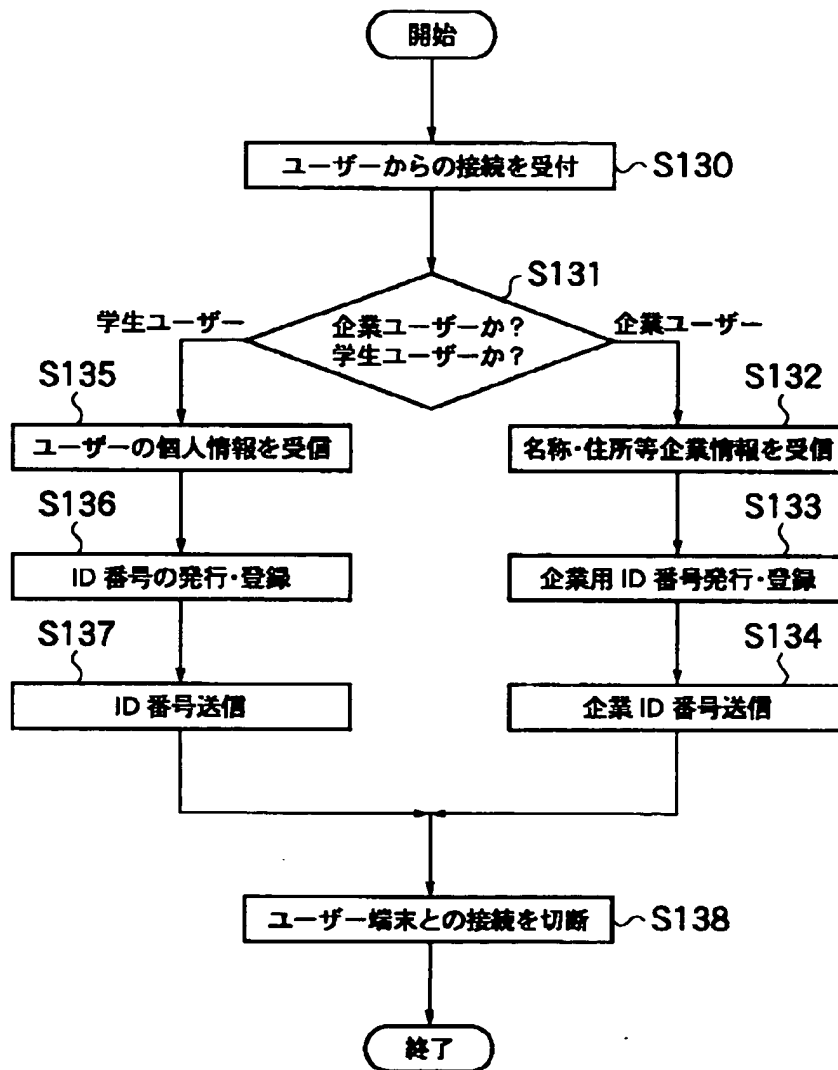
【図5】



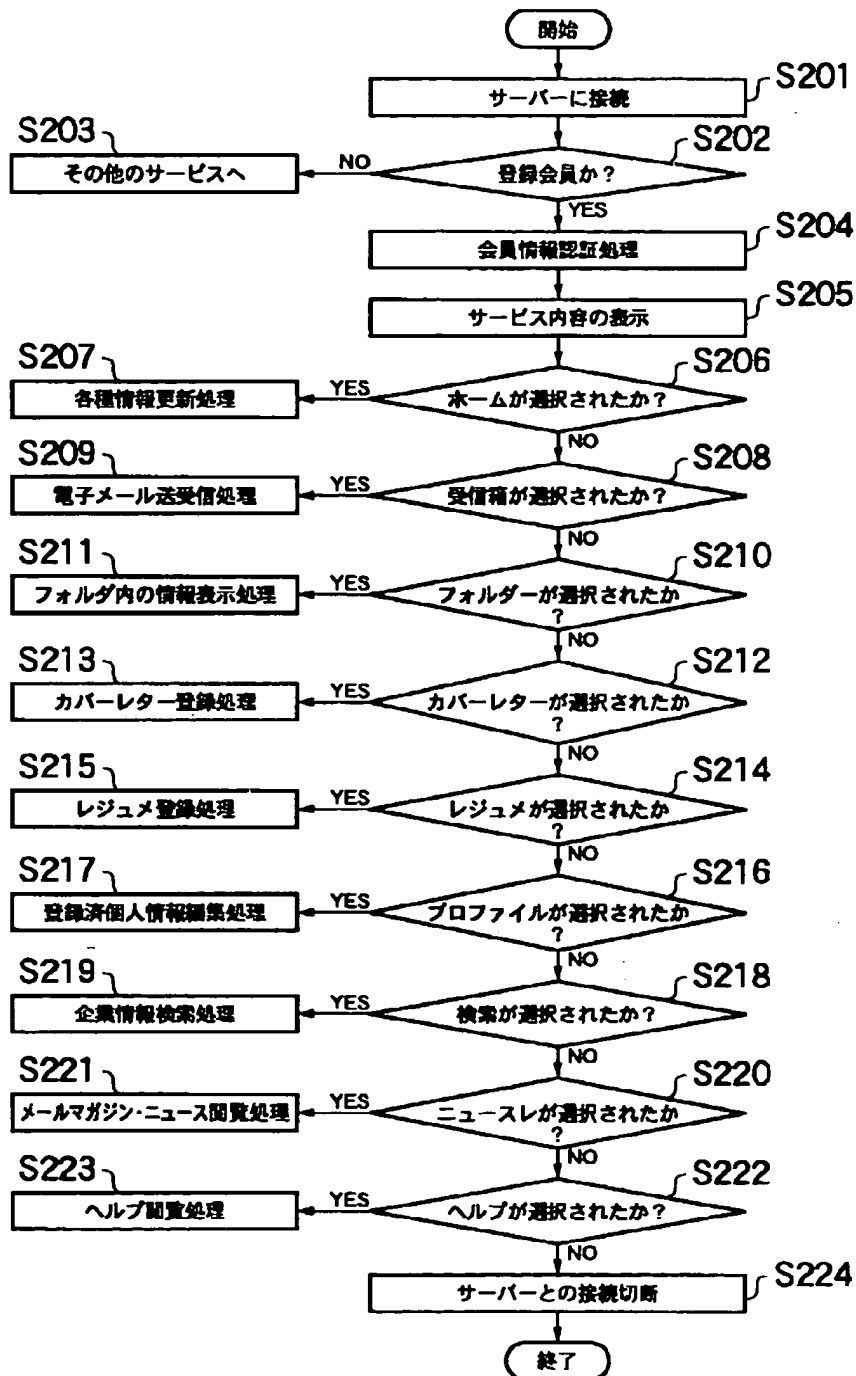
【図15】



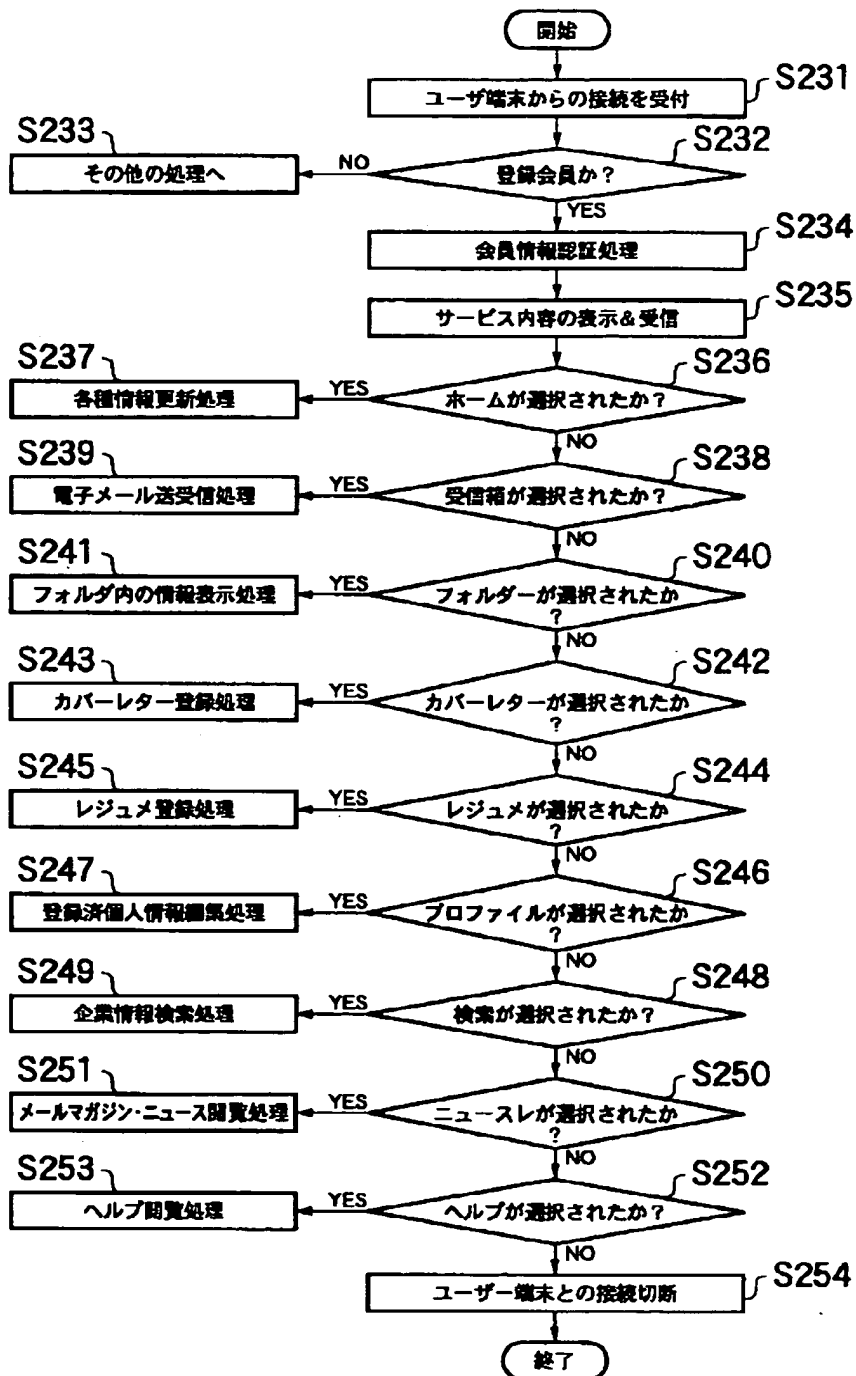
【図6】



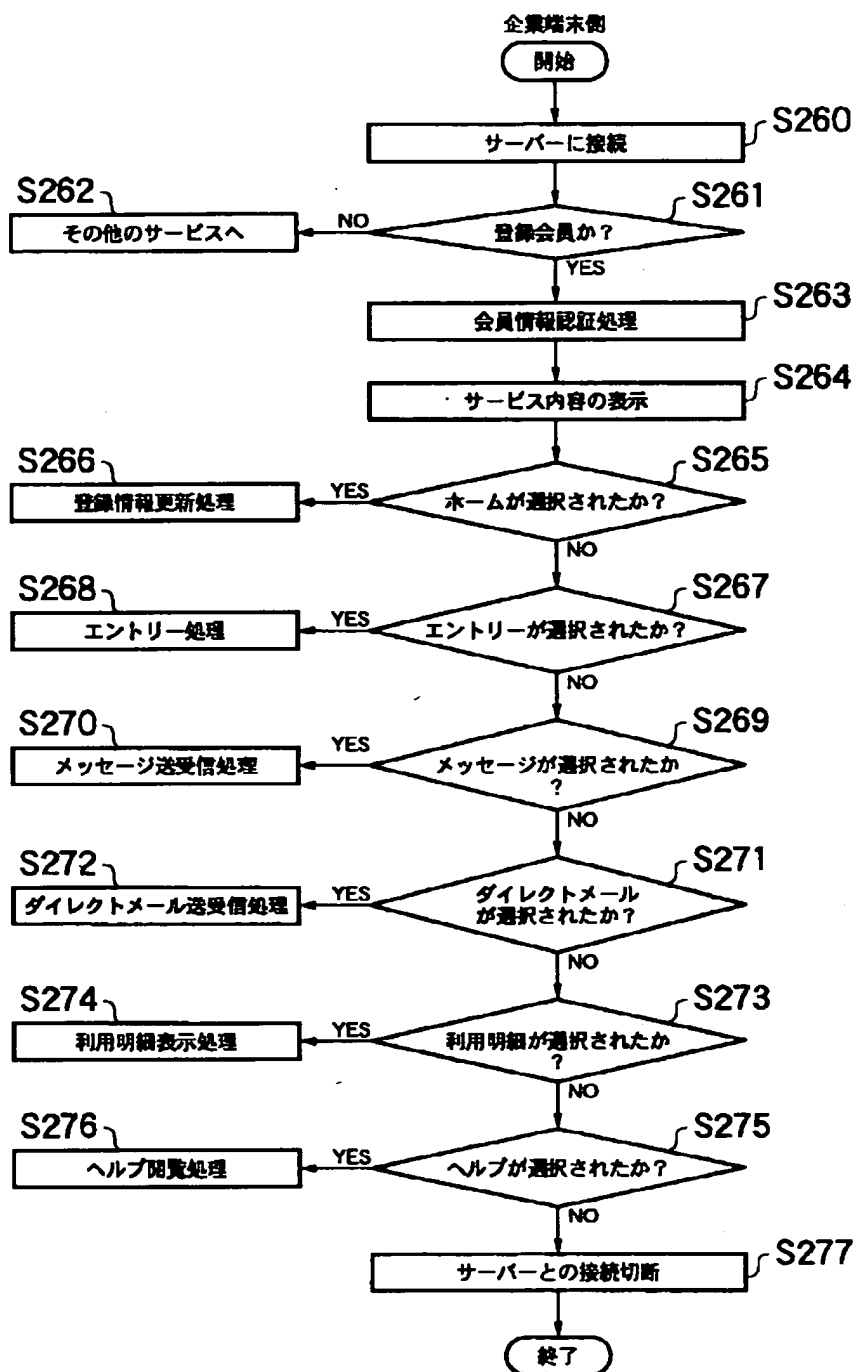
【図7】



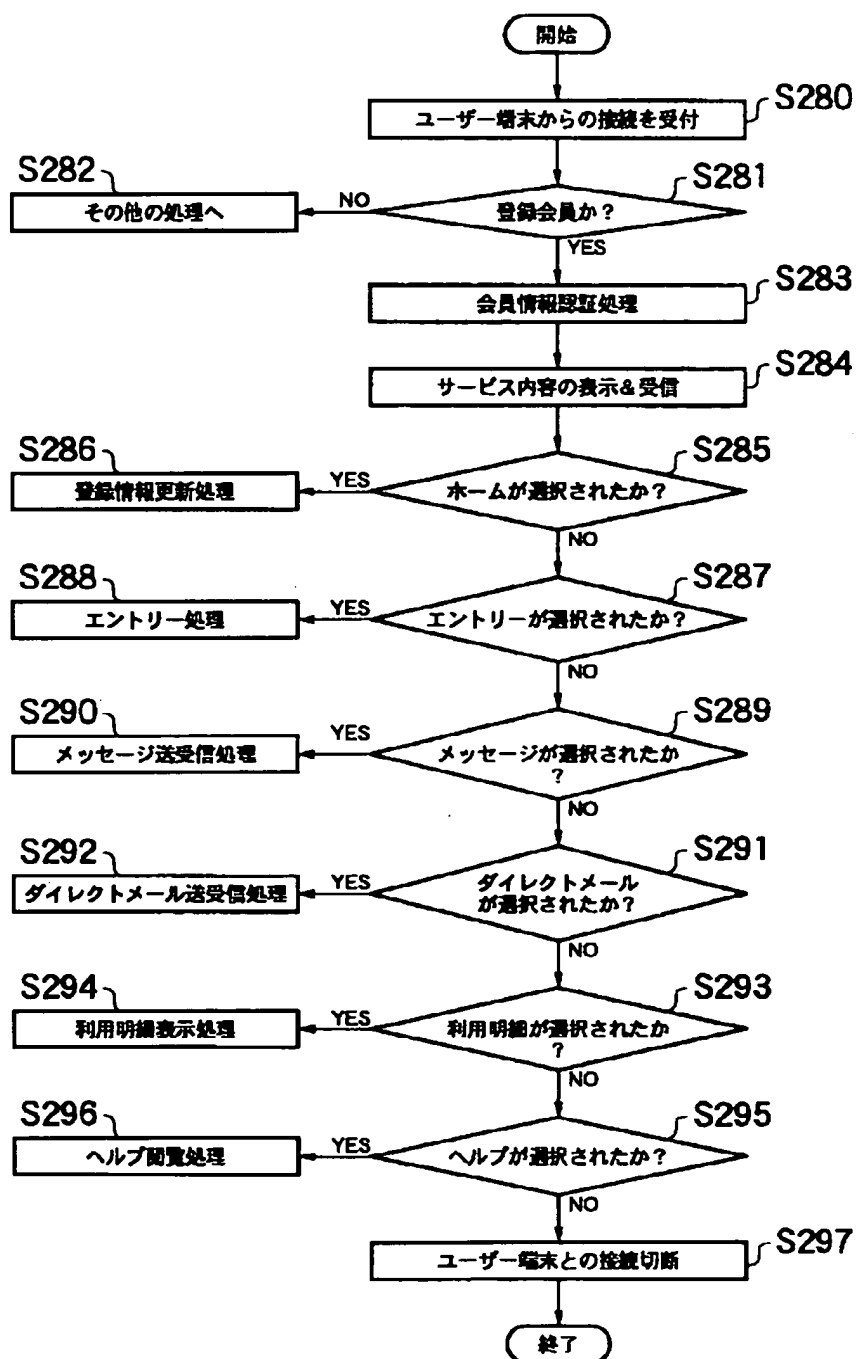
【図8】



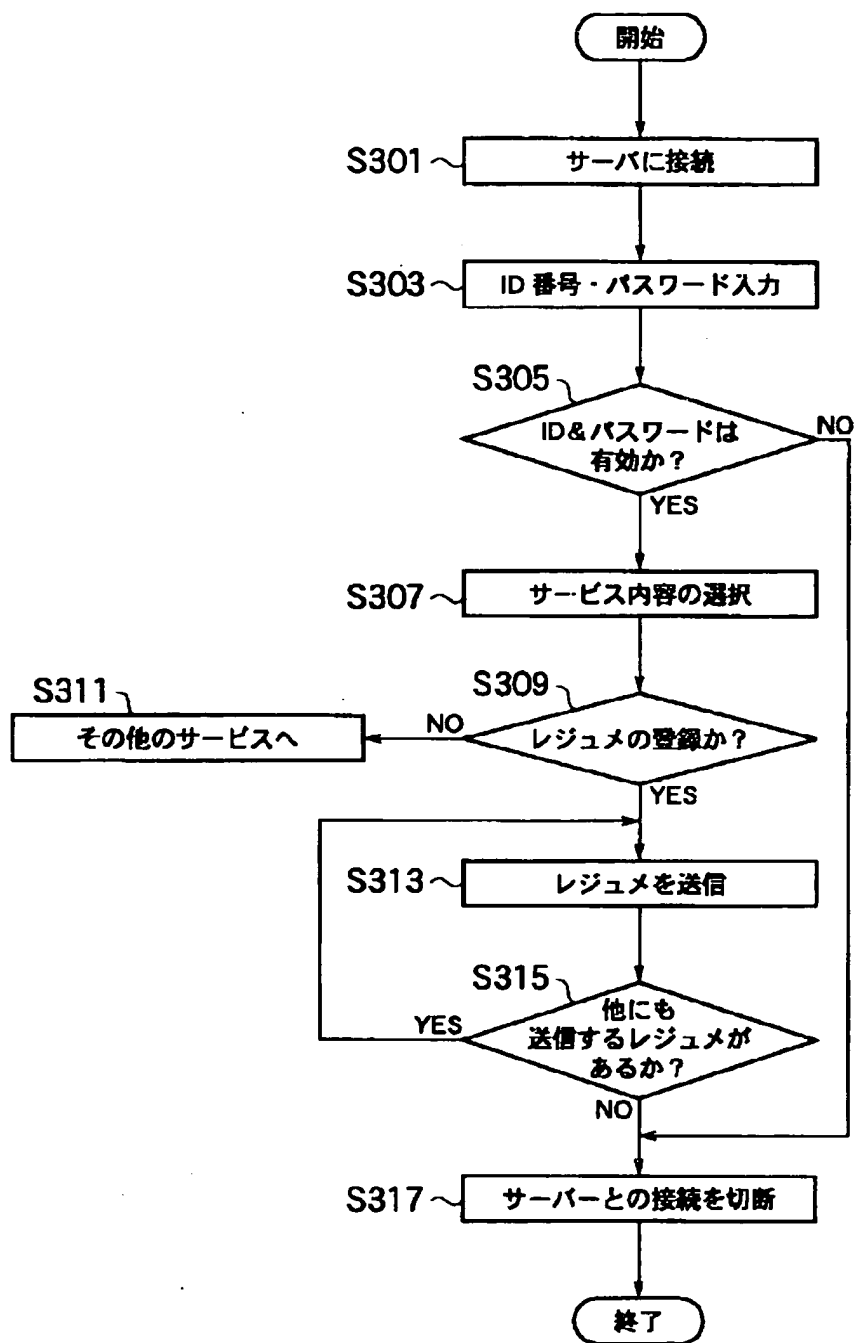
【図9】



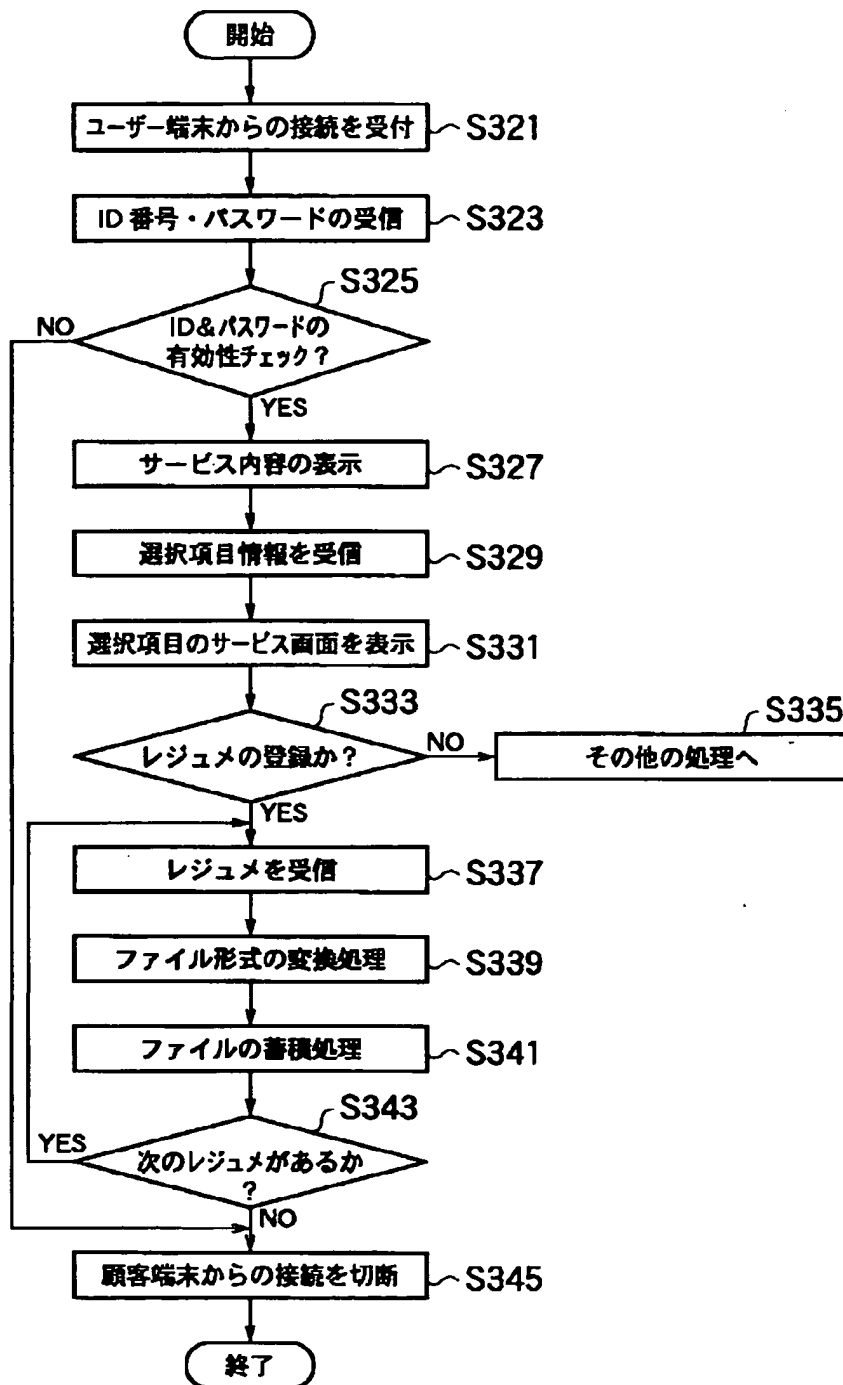
【図10】



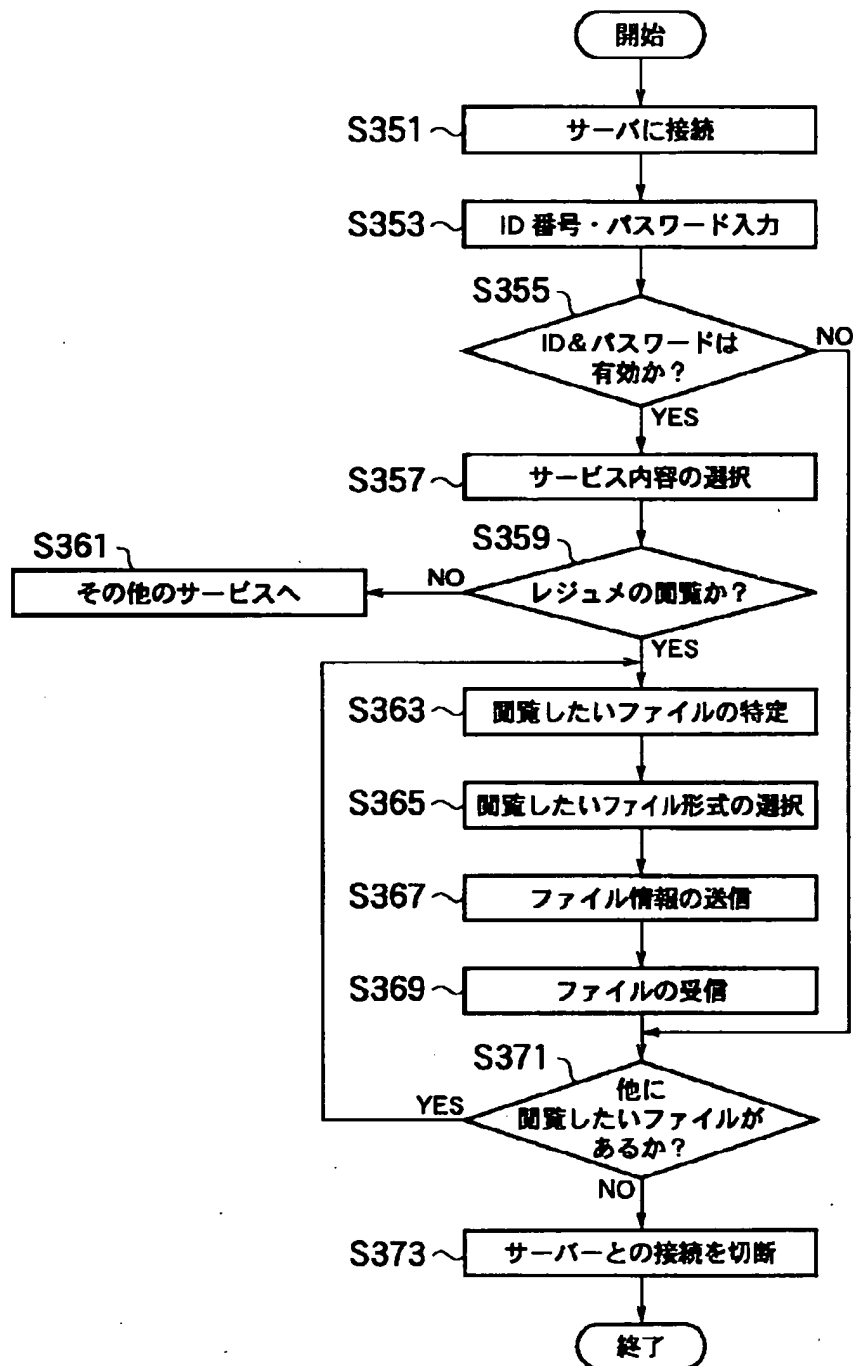
【図11】



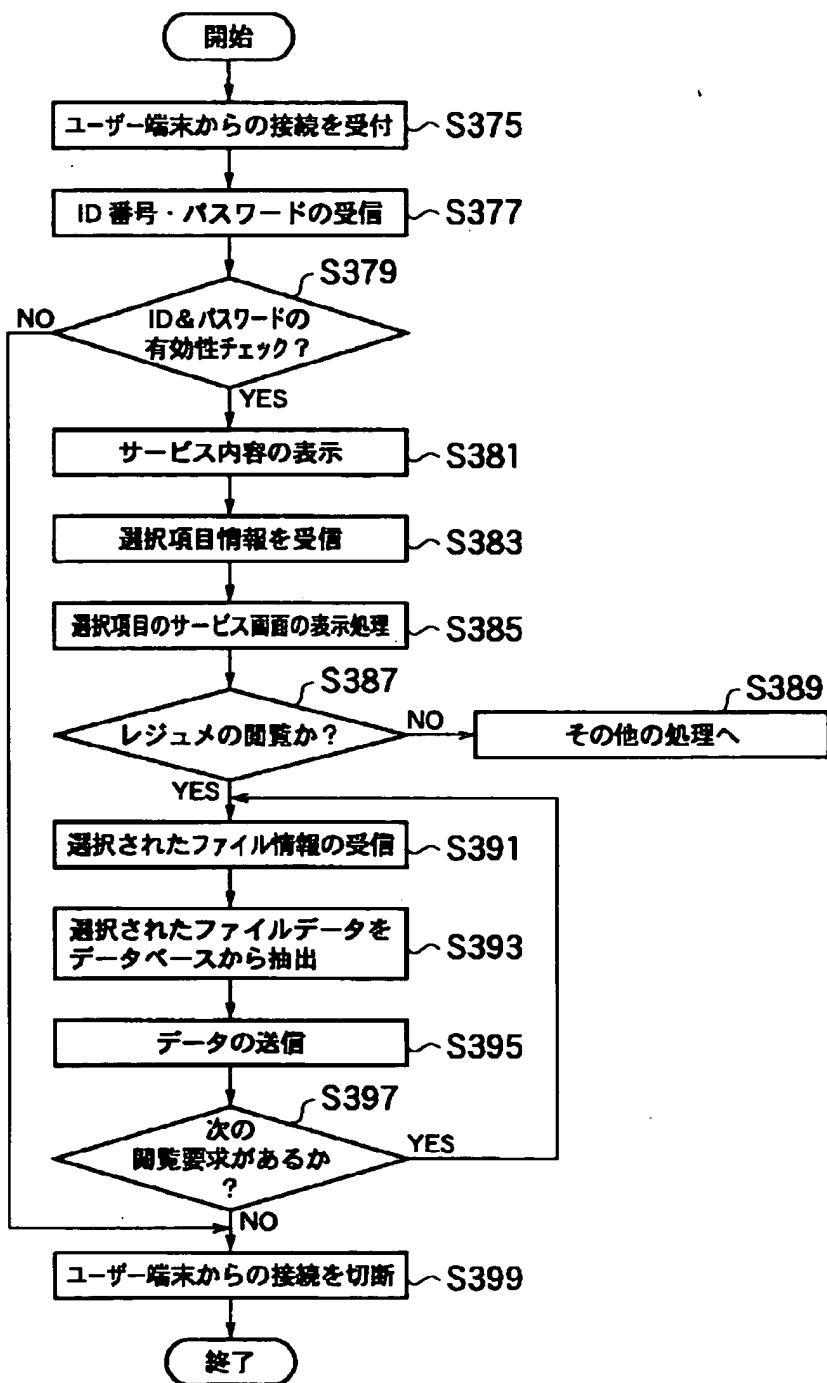
【図12】



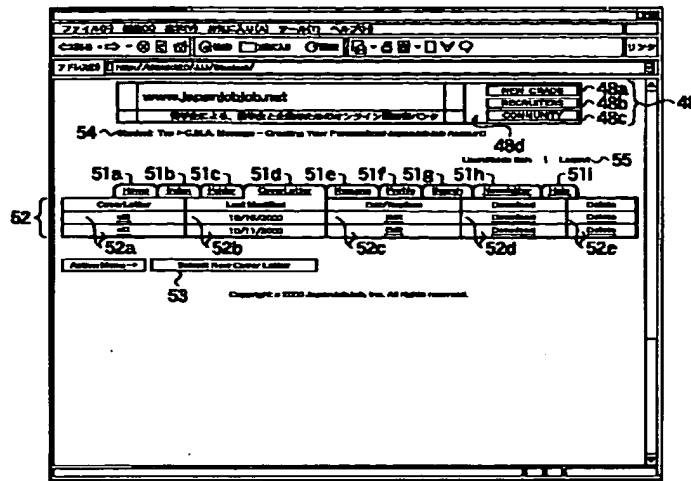
【図13】



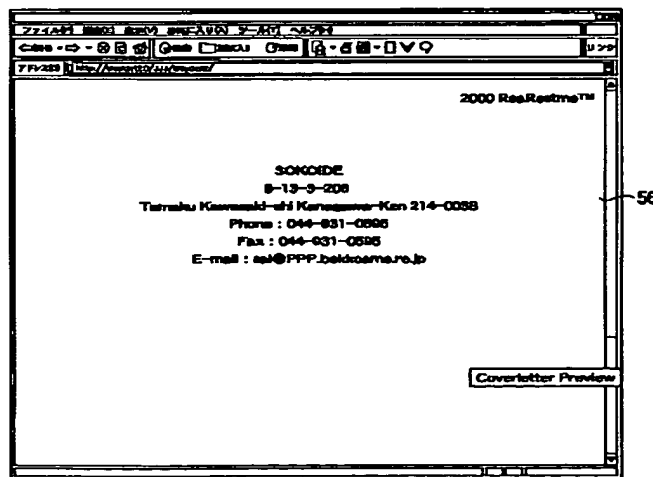
【図14】



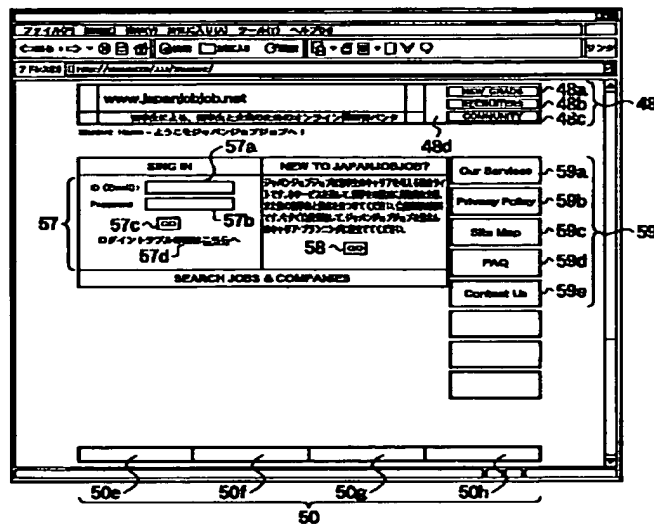
【図16】



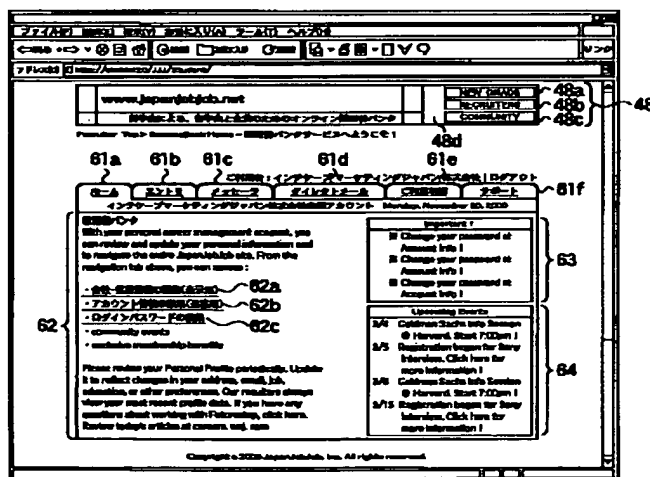
【図17】



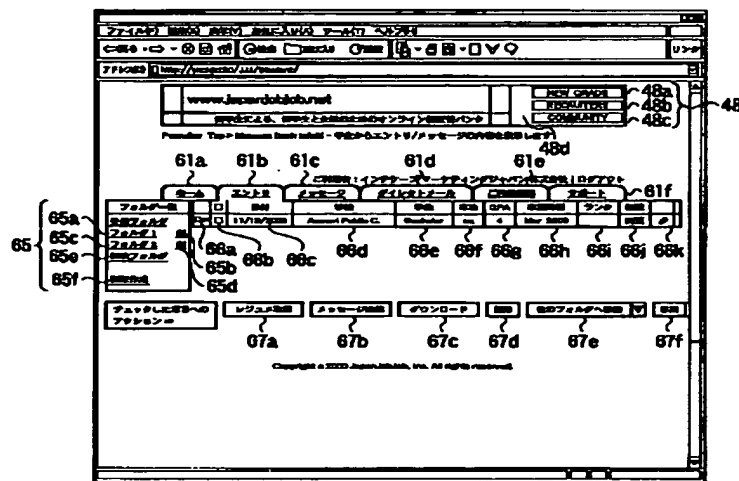
【図18】



【図19】



【図20】



【図21】

108

NAME 101

102 CAMPUS : Address Phone #

PERMANENT : Address Phone #

103 OBJECTIVE : _____

104 SUMMARY : _____

105 EDUCATION : _____, 9999

106 EXPERIENCE : _____, 9999 - 9999

107 ACTIVITIES : _____, 9999-9999

【図22】

111

NAME 111

112 CAMPUS : Address Phone #

PERMANENT : Address Phone #

113 Objective : _____

114 Summary : _____

115 Education : _____, 1990

116 Experience : _____, 1990 - 1999

117 Activities : _____, 1990-1999

フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷

G 0 6 F 17/30

識別記号

1 7 0

2 3 0

F I

G 0 6 F 17/30

テーマコード(参考)

1 7 0 Z

2 3 0 Z

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.
